

# 第3次

## 横手市定住自立圏共生ビジョン



令和4年3月  
秋田県横手市

# 目次

## 第1章 定住自立圏共生ビジョンの策定にあたって

1. 定住自立圏及び市町村の名称	1
(1) 定住自立圏の名称	1
(2) 定住自立圏を形成する市町村	1
2. ビジョンの位置づけ	1
3. ビジョンの期間	1
4. 圏域の概況	2
(1) 圏域の状況	2
(2) 各地域の概況	3
(3) 人口等の推移	5
(4) 産業の概況	7
(5) 都市機能の状況	10
(6) 市民意識（令和3年度横手市まちづくりアンケート結果）	11

## 第2章 圏域の将来像

1. 目指す将来像	13
2. 将来像の実現	14
3. 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略による人口の将来展望	14

## 第3章 定住自立圏形成方針に基づき推進する具体的取組

定住自立圏共生ビジョンの体系図	18
1. 生活機能の強化に係る政策分野	19
(1) 医療	19
(2) 健康・福祉	22
(3) 産業	25
(4) 教育文化	38
(5) 環境	42
(6) 防災	47
2. 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	49
(1) 地域公共交通	49
(2) 道路等の交通インフラの整備	52
(3) 交流・定住促進	57
(4) 地産地消の推進	62
(5) デジタル・ディバイドの解消へむけたICTインフラ整備・活用	64
3. 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	67
(1) 人材の育成	67
(2) 外部からの人材の招へい	70

# 第1章 定住自立圏共生ビジョンの策定にあたって

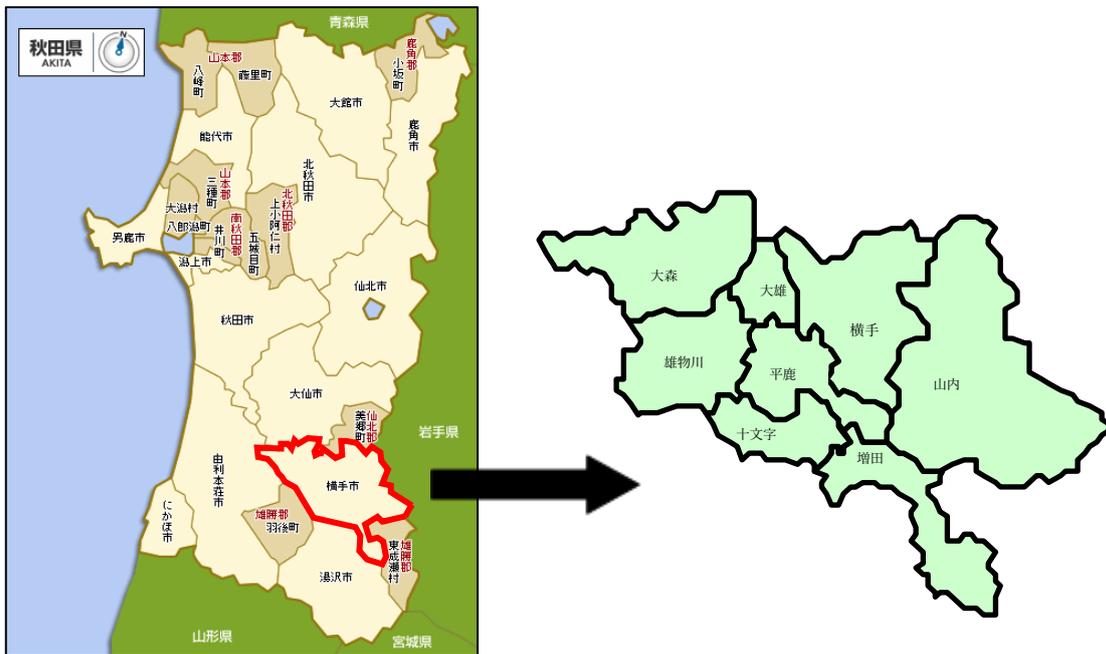
## 1. 定住自立圏及び市町村の名称

### (1) 定住自立圏の名称

横手市定住自立圏

### (2) 定住自立圏を形成する市町村

横手市（横手地域、増田地域、平鹿地域、雄物川地域、大森地域、  
十文字地域、山内地域、大雄地域）



## 2. ビジョンの位置づけ

本ビジョンは、横手市定住自立圏が定住のために必要な生活機能を確保するとともに、自立のための地域基盤を培い、地域の活性化を図る観点から、圏域が目指す将来像及びその実現のための具体的な取組を示すものである。

## 3. ビジョンの期間

本ビジョンで示す将来像実現に向けた具体的な取組の計画期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間とする。ただし、毎年度必要に応じて所要の変更を行う。

## 4. 圏域の概況

### (1) 圏域の状況

本圏域（横手市）は、平成17年10月1日に、（旧）横手市、増田町、平鹿町、雄物川町、大森町、十文字町、山内村及び大雄村の8市町村が合併して誕生した圏域であり、秋田県の南東部に位置している。東の奥羽山脈、西の出羽丘陵に囲まれた横手盆地の中央に位置し、東西に約45km、南北に約35km、総面積は692,80km<sup>2</sup>で、秋田県の約6.0%を占めている。

本圏域は、奥羽山系に源を発する成瀬川と皆瀬川が合流した雄物川及び横手川が貫流し、美しい田園風景を形成している。

気候としては、内陸盆地であるため気温の日格差が大きく、典型的な積雪寒冷地で12月から3月までの積雪量は例年1mを超え、近年は2mを超える積雪を観測するなど、屈指の豪雪地帯となっている。

本圏域には、多くの縄文時代の遺跡が存在し、約5～6千年前からこの地に人々が住んでいたと推測されている。平安時代後期には奥州藤原氏の平泉文化へと繋がる後三年合戦（1083～1087年）がこの地域を舞台に繰り広げられ、その史跡や伝説は今も多く残されている。また、江戸時代には横手地域に秋田藩の城代が置かれ、常に県南の中心拠点として発展している。

道路網は、国道13号と国道107号が圏域内で交差し、平成9年には秋田自動車道が東北自動車道と接続され、秋田市や北上市ともに約45分で結ばれている。また、横手ジャンクションを介して湯沢横手道路（東北中央自動車道）が秋田自動車道と交差し、国道342号と国道397号が東に走り、岩手県一関市や奥州市とも結ばれているほか、令和元年8月には横手北スマートインターチェンジが整備され、本圏域は県下でも有数の交通要衝となっている。

産業については、横手盆地特有の気象や立地条件、肥沃な土壌により稲作中心の穀倉地帯であり、野菜や果樹等も含めて、農業が基幹産業となっている。また、全国的にも知られている横手やきそばをはじめ、優れた食材を生かした漬物やワインなど、「食と農からのまちづくり」の推進と浸透を図り、農産物のブランド化・高付加価値化を展開している。一方、工業においては、地元企業や自動車関連企業をはじめとする誘致企業による製造業が中心となっている。

さらには、多様な地域性と地域文化を有していることも本市の大きな特徴となっており、圏域内の活動においては、住民が地域の誇りや文化的価値を再認識しながら交流が進められている。

## (2) 各地域の概況

### 1) 横手地域

横手地域は、北に御嶽山を仰ぎ、横手川が市街地中央部を流れる山と川のある城下町で風情ある地域である。当地域には、圏域住民の約4割が居住し、市役所本庁舎、国の出先機関や税務署、職業安定所、県の地域振興局、保健所など行政機関が集積している。この他、老人福祉施設、横手体育館、市民会館、県立近代美術館、県立衛生看護学院などの主要施設や横手インターチェンジ周辺に大規模商業施設や秋田ふるさと村が立地するなど、圏域の中心市街地となっている。現在、市全体のまちの活力とにぎわいを創出する拠点として、定住のために必要な都市機能のさらなる充実に努め、圏域全体の均衡ある発展に欠かせない地域医療の維持・確保や地域公共交通機関の整備など生活機能強化、さらには、人・物・情報のネットワーク化を進め、都市機能誘導区域の中心拠点区域として機能強化を進めている。

### 2) 増田地域

増田地域は、中心地において古くから切妻造妻入の商家が立ち並ぶ歴史的まちなみを形成し、そのまちなみは国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。地域の周辺は、美しい果樹園の丘陵が取り囲んでおり、皆瀬川・成瀬川・狙半内川が山あいを流れる自然豊かな地域であることから、釣りキチ三平の里として、自然を活用した体験教育を推進している。また、令和元年にリニューアルオープンした横手市増田まんが美術館は、原画所蔵枚数日本一を誇り、貴重な原画の保存・展示やその魅力を発信し、歴史的まちなみとの調和を図りながら、観光交流機能の中核を担っている。

### 3) 平鹿地域

平鹿地域は、横手盆地のほぼ中央に位置し、横手市の基幹産業である農業の中心地域である。地域東側には平鹿りんごの樹園地が広がり、鳥海山を眺望できる丘陵地帯となっている。本地域中心部には、琵琶沼等の湧水地と大正6年創業の酒蔵があり、歴史的な町並みを形成している。初夏には、浅舞公園で開催される「あやめまつり」に多くの観光客が訪れ、また、実りの秋を告げる浅舞八幡神社神輿渡御の神事と山車巡行行事は、歴史と文化を継承する重要な歴史的風致として横手市無形民俗文化財に指定されている。

豊かな水源と自然環境、伝統文化の保全を図るとともに、美しい田園と果樹園を守り育む地域を目指している。

#### 4) 雄物川地域

雄物川地域は、西に出羽丘陵、東側は平坦地で良好な農地が広がっており、稲作のほか、味、生産量共に県内一を誇るスイカの産地となっている。地域中央部を雄物川が流れ、広大な敷地にデイキャンプ設備を備える雄物川河川公園や古民家を移設した木戸五郎兵衛村と隣接する中央公園、貴重な植生植物が生育する鍛冶台いこいの森のほか、後三年合戦にまつわる沼柵跡があり、また昨今は、新たな遺構発見の可能性につながる土器が出土するなど、名所・旧跡等の歴史的資源が数多くあることから、自然と歴史の薫る地域づくりを目指している。

#### 5) 大森地域

大森地域は、出羽丘陵のふもとから雄物川沿いに広がる稲作やしいたけ栽培が盛んな農山村地帯である。一方、当地域には、市立大森病院を中心施設とした「健康の丘おもり」や秋田県南部老人福祉総合エリアがあり、保健・医療・福祉を統合した地域包括ケアサービス推進の拠点となっているほか、温泉施設やスポーツ施設が一体となった「大森リゾート村」が整備されていることから、これらの充実した環境を生かした地域づくりを目指している。

#### 6) 十文字地域

十文字地域は、JR十文字駅、十文字インターチェンジや道の駅十文字など本圏域南部の交通結節点であり、国道13号沿道に大型小売店が立地するほか、商業や工業が集積し、十文字駅を中心に市街地が形成されており、立地適正化計画においては観光交流機能を提供する副拠点として位置付けられている。市街地の周辺は、田園地帯が広がり、花きやさくらんぼの栽培が盛んで、都市機能と田園景観の調和のとれた均衡ある地域づくりを推進している。

#### 7) 山内地域

山内地域は、奥羽の山々に囲まれた山間地域で、地域内を横手川、黒沢川等の多くの河川が流れており、河川に沿って集落が形成されている。大松川ダムや相野々ダム、鶴ヶ池公園など山紫水明の里であり、いものこ、ぶどう、いぶりがっこ等の食の地域資源も多く、豊かな自然を生かした観光や農業・林業体験等によるグリーン・ツーリズムを推進して、イキイキとした地域づくりを目指している。

#### 8) 大雄地域

大雄地域は、地域一帯が美しい田園風景を成し、稲作を中心に、大豆や枝豆、トマト等の野菜と全国有数の生産量を誇るホップなど農業が生産基盤となっており、産地収益力の向上や地域農産物のブランド化を推進している。また、一方で転作田を利用した「たいゆう緑花園」の整備などにより、潤いと生きがいの持てる地域づくりを目指している。

### (3) 人口等の推移

#### ①人口の推移・見通し

(単位：人)

区分		平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和7年	令和12年
総人口		103,652	98,367	92,197	85,555	81,058	76,087
年齢 三区 分別 人口	年少人口 (0~14歳)	12,822	11,371	9,805	8,532	8,561	8,508
	構成比	12.4%	11.6%	10.6%	10.0%	10.6%	11.2%
	生産年齢人口 (15~64歳)	60,341	56,114	49,769	43,422	39,330	36,038
	構成比	58.2%	57.0%	54.0%	50.8%	48.5%	47.4%
	老年人口 (65歳以上)	30,489	30,879	32,319	33,401	33,167	31,541
	構成比	29.4%	31.4%	35.1%	39.0%	40.9%	41.5%

資料：国勢調査・横手市人口ビジョン

※年齢不詳は総人口に含む

※令和7年以降は横手市人口ビジョン数値（令和3年3月策定）

#### ②地域別人口及び世帯数

(単位：人・世帯)

区分 地域	平成27年				令和2年				増減 (B)-(A)
	総数(A)	男	女	世帯数	総数(B)	男	女	世帯数	
総数	92,197	43,274	48,923	31,463	85,555	40,326	45,229	31,109	△6,642
横手地域	36,334	17,069	19,265	13,833	34,797	16,422	18,375	13,986	△1,537
増田地域	7,053	3,323	3,730	2,345	6,309	2,984	3,325	2,243	△744
平鹿地域	12,515	5,868	6,647	3,756	11,449	5,336	6,113	3,674	△1,066
雄物川地域	9,130	4,290	4,840	2,781	8,279	3,916	4,363	2,680	△851
大森地域	6,327	2,895	3,432	1,904	5,634	2,583	3,051	1,815	△693
十文字地域	12,607	5,951	6,656	4,321	11,756	5,580	6,176	4,281	△851
山内地域	3,426	1,607	1,819	1,140	3,006	1,432	1,574	1,077	△420
大雄地域	4,805	2,271	2,534	1,383	4,325	2,073	2,252	1,353	△480

資料：国勢調査

### ③圏域内の就業者数

(単位：人)

地域名	市内15歳以上 就業者数	自宅又は 市内へ従業	他市区町村又 は県外へ従業	従業地 「不詳」
横手地域	17,589	15,203 86.4%	2,296 13.1%	90
増田地域	3,663	2,999 81.9%	648 17.7%	16
平鹿地域	6,663	5,942 89.2%	679 10.2%	42
雄物川地域	4,819	4,298 89.2%	520 10.8%	1
大森地域	3,137	2,563 81.7%	574 18.3%	0
十文字地域	6,601	5,248 79.5%	1,327 20.1%	26
山内地域	1,677	1,509 90.0%	168 10.0%	0
大雄地域	2,569	2,236 87.0%	329 12.8%	4
計	46,718	39,998 85.6%	6,541 14.0%	179

資料：平成27年国勢調査

※総数には従業地「不詳」も含む。

### ④圏域内の通学者数

(単位：人)

地域名	市内15歳以上 通学者数	市内へ通学	他市町村又は 県外へ通学	通学地「不 詳」
横手地域	1,305	1,043 79.9%	249 19.1%	13
増田地域	269	199 74.0%	70 26.0%	0
平鹿地域	473	375 79.3%	92 19.5%	6
雄物川地域	329	286 86.9%	43 13.1%	0
大森地域	190	132 69.5%	58 30.5%	0
十文字地域	489	330 67.5%	155 31.7%	4
山内地域	107	97 90.7%	10 9.3%	0
大雄地域	177	149 84.2%	28 15.8%	0
計	3,339	2,611 78.2%	705 21.1%	23

資料：平成27年国勢調査

※総数には従業地「不詳」も含む。

#### (4) 産業の概況

##### ① 農業の概況と推移

区分 年次	農家数(戸)	経営耕地面積(ha)			
	総数	総数	田	樹園地	畑
昭和50年	14,504	17,977	15,735	1,129	1,113
昭和55年	14,282	18,171	16,134	1,099	938
昭和60年	13,955	18,145	16,040	1,176	929
平成 2年	13,343	17,803	15,748	1,201	854
平成 7年	12,749	17,528	15,389	1,281	858
平成12年	11,982	17,132	15,186	1,150	796
平成17年	10,929	16,208	14,596	984	628
平成22年	8,920	16,201	14,684	900	617
平成27年	7,464	15,651	14,324	794	533
令和2年	5,731	14,994	13,570	691	733

資料: 農林業センサス

##### ② 認定農業者の推移

(単位: 人・経営体)

区分 年次	合計	横手	増田	平鹿	雄物川	大森	十文字	山内	大雄	うち 法人
平成23年度	1,300	206	138	268	241	97	204	30	116	54
平成24年度	1,299	201	135	256	253	97	207	31	119	67
平成25年度	1,287	198	129	258	252	99	205	30	116	71
平成26年度	1,308	205	125	268	253	99	208	29	121	77
平成27年度	1,335	227	127	280	243	92	217	30	119	81
平成28年度	1,299	222	122	275	229	89	211	35	116	83
平成29年度	1,280	219	117	272	230	83	208	36	115	87
平成30年度	1,256	210	110	275	228	82	205	34	112	91
令和元年度	1,229	204	106	265	217	82	207	34	114	99
令和2年度	1,157	187	102	253	194	75	203	34	109	109

資料: 市食農推進課

### ③卸売業及び小売業における事務所等の推移

区分 年次	卸売業			小売業		
	事業所数	従業者数 (人)	年間 商品販売額 (百万円)	事業所数	従業者数 (人)	年間 商品販売額 (百万円)
平成16年	339	2,509	118,043	1,575	7,804	114,406
平成19年	289	2,209	107,794	1,407	7,082	113,372
平成24年	228	1,734	89,175	1,008	5,400	98,515
平成26年	221	1,696	88,309	968	5,597	110,267
平成28年	209	1,680	102,925	987	5,896	109,446

資料：平成24・28年経済センサス活動調査、平成16・19・26年商業統計調査

### ④製造業の推移（従業員4人以上の事業所）

区分 年次	事業所数	従業者数(人)	製造品出荷額 (万円)
平成25年	203	7,068	11,829,561
平成26年	195	7,069	13,055,360
平成28年	217	7,250	12,816,927
平成29年	191	7,737	13,106,452
平成30年	191	7,977	14,314,936
令和元年	188	7,899	14,354,291
令和2年	183	7,538	12,707,800

資料：秋田県企画振興部調査統計課「工業統計調査結果」・経済センサス

⑤事業所の動向

分類 \ 区分		平成24年		平成26年		平成28年	
		事業所数	従業者数 (人)	事業所数	従業者数 (人)	事業所数	従業者数 (人)
A~R	全産業	4,884	38,381	5,033	42,207	4,608	37,368
A~Q	全産業(公務除く)	4,548	36,397	4,615	39,027	4,276	35,576
A~C	農林漁業	75	876	94	968	94	1,132
A	農業・林業	75	876	94	968	94	1,132
B	漁業	-	-	-	-	-	-
D~R	非農林漁業	4,809	37,505	4,939	41,239	4,514	36,236
C	鉱業	-	-	1	4	-	-
D	建設業	586	3,814	544	3,547	516	3,321
E	製造業	403	7,876	389	7,424	381	8,165
F	電気・ガス・熱供給・水道業	1	84	4	135	2	80
G	情報通信業	29	154	28	139	22	122
H	運輸業・郵便業	103	1,821	105	1,846	100	1,705
I	卸売業・小売業	1,446	8,652	1,397	8,899	1,325	8,516
J	金融業・保険業	90	1,051	79	805	71	739
K	不動産業・物品賃貸業	110	427	104	356	100	361
L	学術研究、専門・技術サービス業	138	512	139	704	138	577
M	宿泊業、飲食サービス業	534	3,033	543	3,179	511	2,753
N	生活関連サービス業、娯楽業	650	1,817	638	1,865	592	1,707
O	教育、学習支援業	76	300	144	1,636	65	243
P	医療、福祉	266	5,026	355	6,900	311	5,517
Q	複合サービス事業	41	954	51	620	48	638
R	その他サービス業	336	1,984	418	3,180	332	1,792

資料：平成24・28年経済センサス活動調査、平成26年経済センサス基礎調査

## (5) 都市機能の状況

### ①地域別医療機関数

地域	区分	医療機関 (歯科除く)		歯科
		うち小児科	うち産科・婦人科	
横手地域		36	64(うち分娩可能2)	23
増田地域		2	0	3
平鹿地域		3	2	3
雄物川地域		3	2	2
大森地域		3	1	2
十文字地域		7	1	9
山内地域		1	0	1
大雄地域		1	0	1
計		56	125(うち分娩可能2)	44

資料: 市健康推進課(令和3年11月25日時点)

### ②圏域内の救急搬送の状況

(単位:人)

区分	年次	総数	横手	増田	平鹿	雄物川	大森	十文字	山内	大雄	管轄外
	平成27年	3,479	1,392	319	501	300	215	461	167	124	6
	平成28年	3,505	1,467	276	490	319	215	448	128	162	2
	平成29年	3,704	1,612	298	473	332	209	468	156	156	0
	平成30年	3,828	1,581	296	500	389	250	501	146	165	1
	令和元年	3,680	1,573	318	475	348	217	459	149	141	1
	令和2年	3,257	1,352	271	419	318	186	460	132	119	0

※「総数」は管轄外を除く。

資料: 市消防本部

### ③公共交通の利用状況

(単位:人)

区分	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
路線バス(15路線39系統)		574,868	558,846	553,076	492,418	403,462
循環バス(1路線)		44,011	45,731	45,432	43,711	30,086
代替交通(3路線)		8,818	8,918	8,824	7,317	7,354
デマンド交通(市内全域)		46,609	43,614	40,833	39,740	35,645
コミュニティバス(3路線8系統)		6,090	5,869	4,620	4,027	2,706
自家用有償旅客運送(2路線)		-	82	1,149	1,962	2,199
計		680,396	663,060	653,934	589,175	481,452

資料: 市経営企画課

## (6) 市民意識（令和3年度横手市まちづくりアンケート結果）

◆調査対象：市在住の満18歳以上の市民

◆調査時期：令和3年6月10日～7月1日

◆回答状況：回答数1,242通／発送数3,000通（回答率41.4%）

※各項目に対する重要度及び満足度は、1点～6点の6段階評価の6点満点であり、その平均値としている。

### ①重要度の高い施策

順位	項目名	重要度
1	雪国の快適な暮らしの実現	5.44
2	子育て支援の充実	4.99
3	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策	4.97
4	健康でいきいきとした高齢社会の推進	4.95
5	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実	4.86

### ②満足度の高い施策

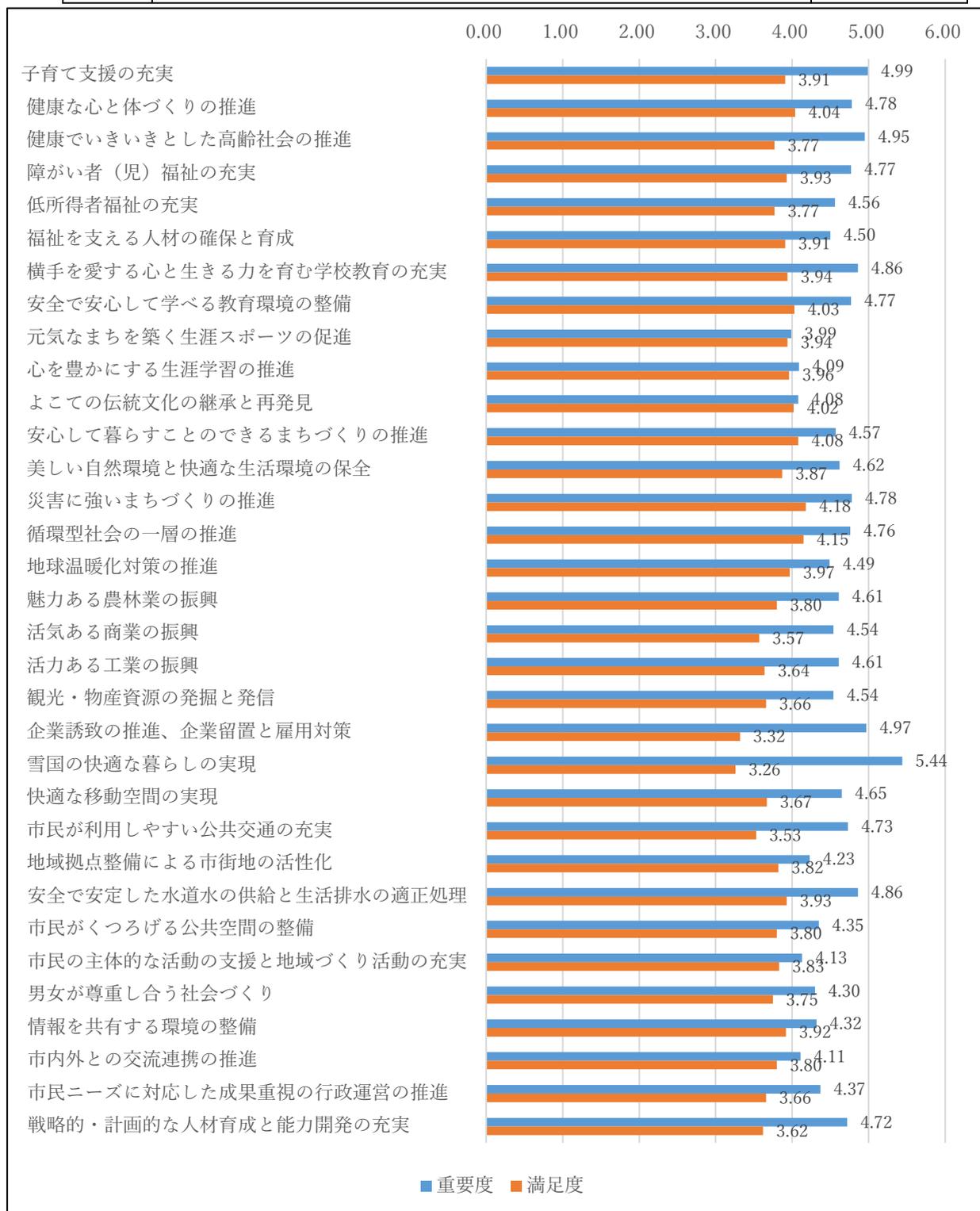
順位	施策名	満足度
1	災害に強いまちづくりの推進	4.18
2	循環型社会の一層の推進	4.15
3	安心して暮らすことのできるまちづくりの推進	4.08
4	健康な心と体づくりの推進	4.04
5	安全で安心して学べる教育環境の整備	4.03

### ③重要度と満足度の差が小さい施策（重要度－満足度）

順位	項目名	ポイント差
1	元気なまちを築く生涯スポーツの促進	0.05
2	よこての伝統文化の継承と再発見	0.06
3	心を豊かにする生涯学習の推進	0.13
4	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実	0.30
5	市内外との交流連携の推進	0.31

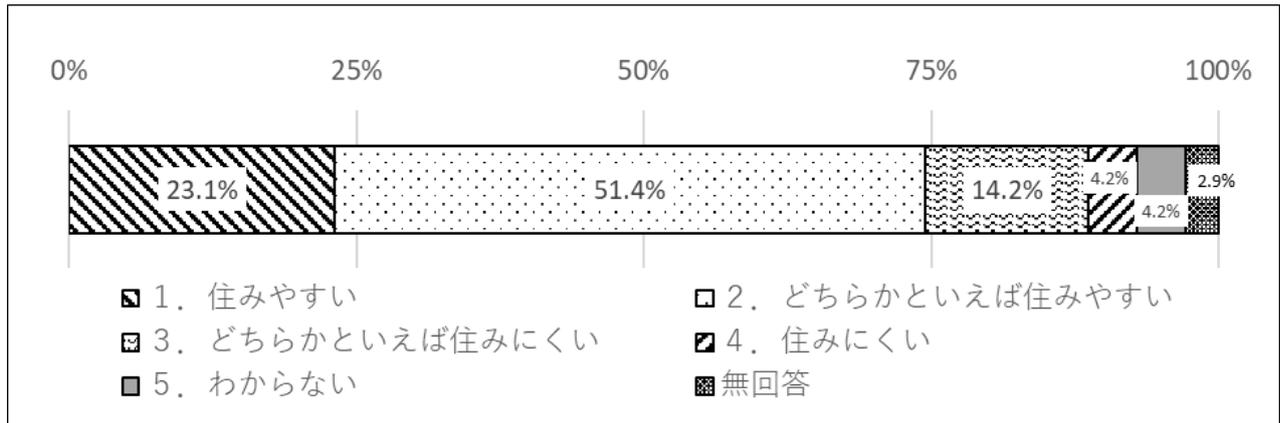
④重要度と満足度の差が大きい施策（重要度－満足度）

順位	項目名	ポイント差
1	雪国の快適なくらしの実現	2.18
2	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策	1.65
3	市民が利用しやすい公共交通の充実	1.20
4	健康でいきいきとした高齢社会の推進	1.18
5	戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実	1.10



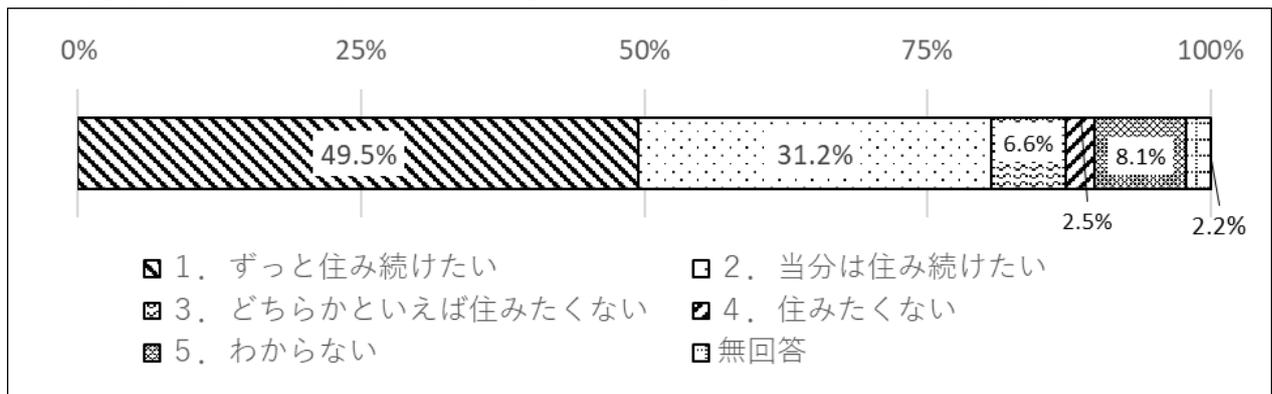
### ⑤定住意識（現在）

【質問】あなたは、横手市が住みやすいまちだと思いますか。



### ⑥定住意識（将来）

【質問】あなたは、これからも横手市に住み続けたいと思いますか。



## 第2章 圏域の将来像

### 1. 目指す将来像

本圏域を構成する8地域は、歴史・文化・産業・経済の様々な分野においての関わりが深く、平成17年の市町村合併以前から地域を越えて生活圏も共有している。歴史や文化活動においては、各地域の特色や特産品を互いに尊重しながら、圏域全体で地域資源を共有している。また、消防や救急、ごみ処理などの日常的な生活においても、早期から広域的な社会基盤を構築に努めてきた。

しかしながら、地域社会を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いており、人口流出による地域活力の低下は大きな課題である。そのため、住民と一丸となって知恵を出し合い、創意工夫をしながら、圏域から人口流出を防ぐとともに、圏域外からの人の流れを創出できる社会空間を形成し、持続可能な圏域を形成し続けなければならない。そのためには、圏域内外の住民にとっての魅力ある地域づくりと圏域内の人々がライフステージに応じた多様な選択肢の提供を受けら

れ、住んでいて幸せだと感じられる圏域を目指すことが必要である。

これを実現するため、従前から培ってきた本圏域の基盤を更に強固なものとするべく、地域間の有機的な連携を図り、「定住」のための暮らしに必要な諸機能を高め、「自立」のための経済基盤や地域の誇りを培い、圏域全体の総合的な発展に努め、圏域住民が将来も暮らし続け、郷土に愛着と誇りを持てる組織づくりを目指すものである。

## 2. 将来像の実現

将来像を実現するためには、さまざまな地域課題に向けて、定住自立圏構想で掲げる「生活機能の強化」「結びつきやネットワークの強化」「圏域マネジメント能力の強化」の3つの視点において、それぞれの分野における具体的な取組を進めることとする。

また、本取組により、持続可能な開発目標（以下、SDGs）の達成にも寄与できるものとする。



## 3. 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略による人口の将来展望

自然動態と社会動態に起因する人口減少が継続的に進行すると、生産年齢人口の減少と老年人口の増加につながり、地域活力や地域経済の縮小などが懸念される。

こうした状況を克服し、持続可能な地域社会をつくっていくためには、市人口の世代構成の偏りをなくすための対策が急務であり、具体的には、年少人口と生産年齢人口の増加を図る必要がある。

第2期横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、令和22（2040）年には、合計特殊出生率と人口置換水準である2.07、市人口が約6万7千人となることを将来展望に据えて、拡政策の分野横断による取組を展開していく。

(1) 合計特殊出生率の推移と将来展望(横手市人口ビジョン【令和3年3月改定】より)

各年における合計特殊出生率の目標値を基に、0歳人口(出生数)を推計すると図1のとおりとなる。平成29(2017)年の住民基本台帳上の出生数は498人であり、前年度の505人から7人減少している。一方で、同年の合計特殊出生率は1.46となっており、前年の1.40から0.06増加している。

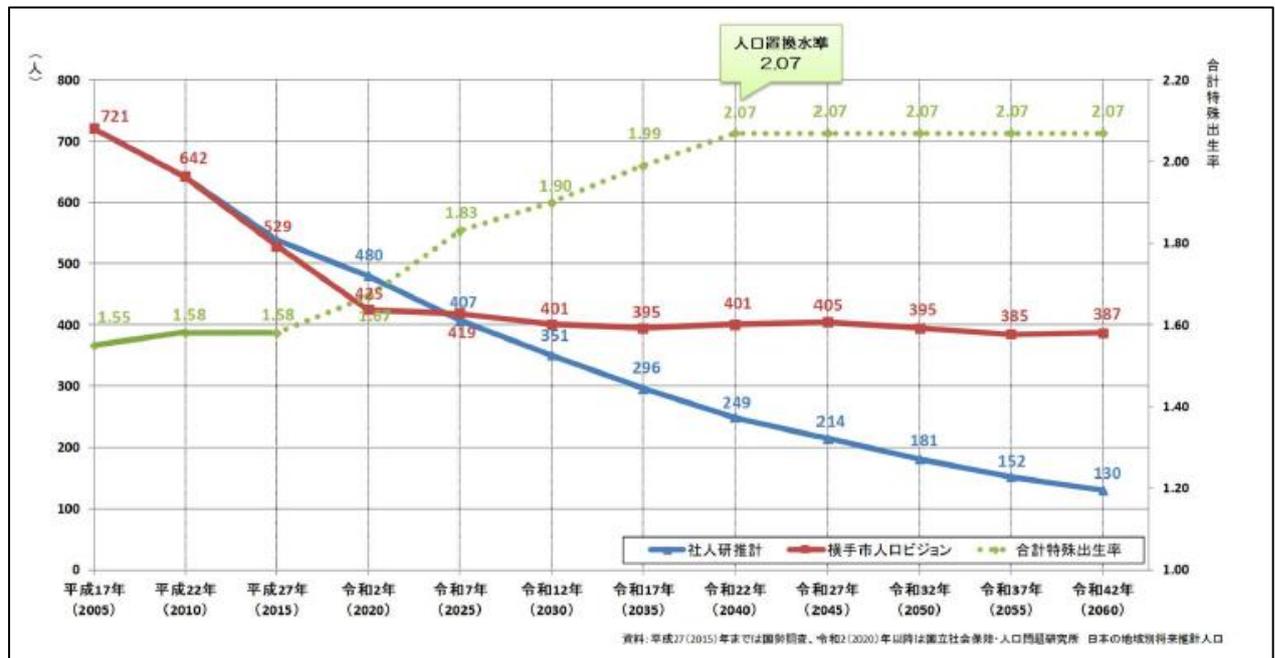
令和2(2020)年の出生数を425人、合計特殊出生率を1.67と仮定して推計すると、各年における目標値を達成するためには、概ね年間390~420人の出生数を維持する必要がある。(表1)

(表1) 合計特殊出生率の推移と将来展望

単位：人

平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和22年 (2040年)	令和32年 (2050年)
1.58	1.58	1.83	1.90	2.07	2.07

(図1) 0歳人口(出生数)の推計



(2) 社会増減数の推移と将来展望（横手市人口ビジョン【令和3年3月改定】より）

純移動率の目標値に基づいた各年における純移動数（転入－転出）は図2のとおりであり、令和2（2020）年では330人の転出超過を見込んでいる。

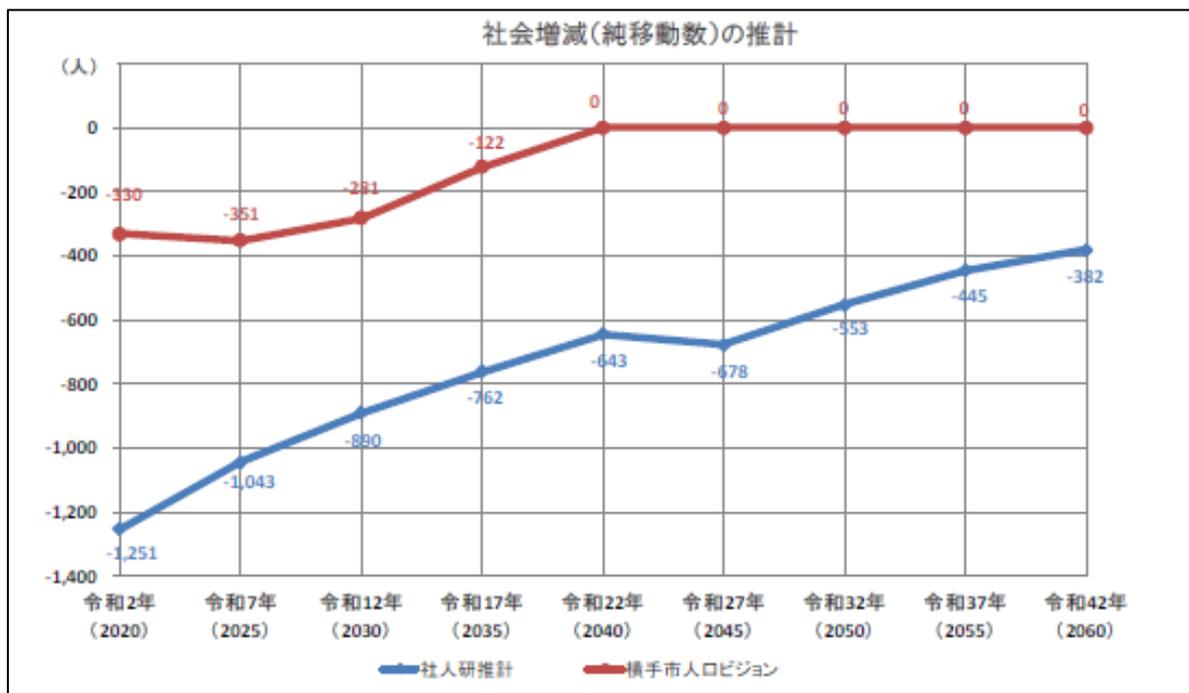
今後、雇用の創出・確保や移住・定住への取組などで人口流出に歯止めをかけることにより、令和22（2040）年までに転入・転出が均衡する状態となる。（表2）

（表2）社会増減数の推移と将来展望

単位：人

平成27年 (2015年)	令和7年 (2025年)	令和17年 (2035年)	令和27年 (2045年)
-371	-351	-122	0

（図2）社会増減（純移動数）の推計



(3) 人口の将来展望 (横手市人口ビジョン【令和3年3月改定】より)

国立社会保障・人口問題研究所によると、本市の人口は令和42(2060)年には約35,000人まで減少すると推計されているが、本市の人口減少に関する施策の効果が着実に反映され、自然動態と社会動態の仮定値のとおり改善されれば、令和42(2060)年の人口は53,922人となり、社人研推計と比較し、約19,000人の増加が見込まれる。(表3、図3)

(表3) 人口の将来展望

単位：人

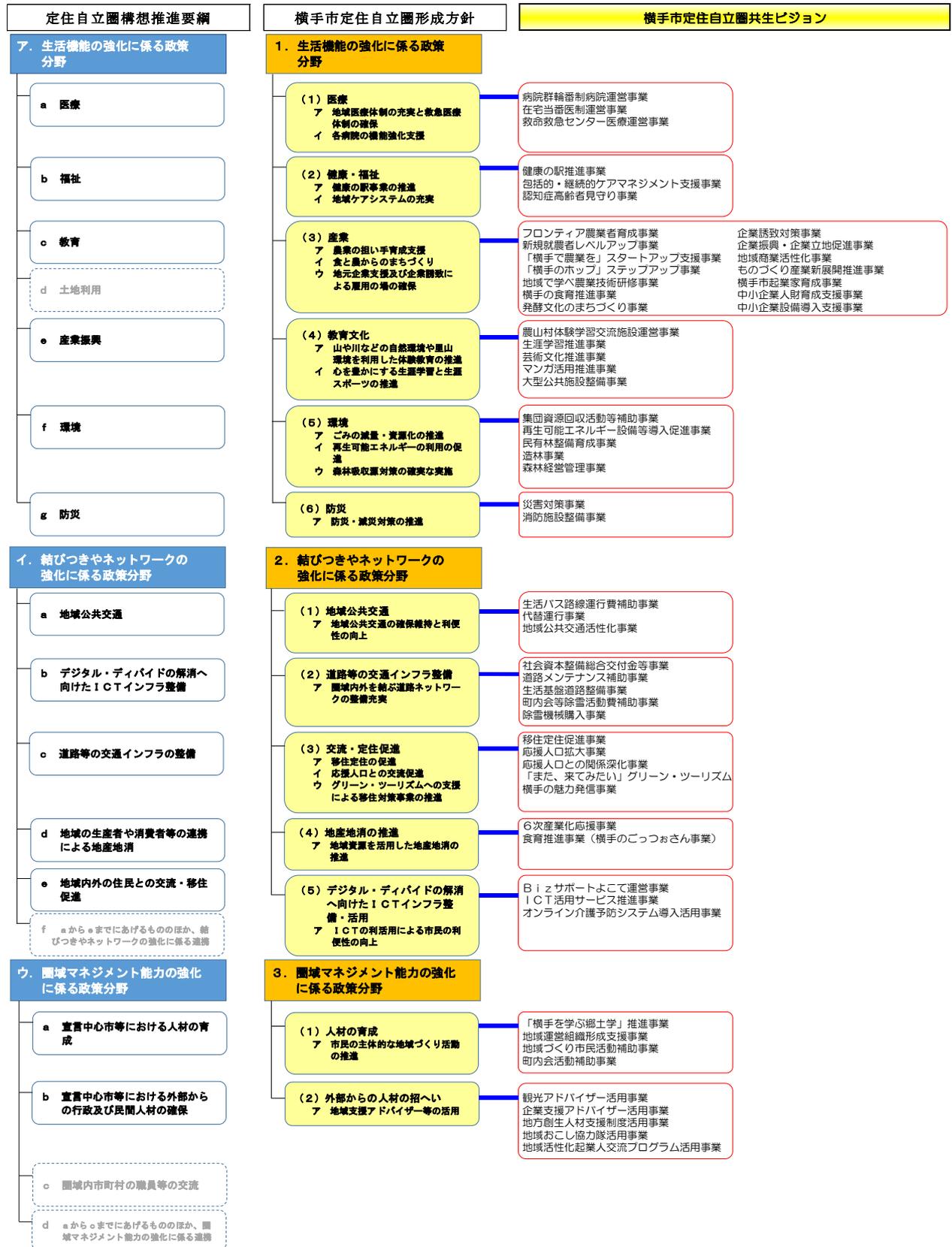
平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	令和7年 (2025年)	令和22年 (2040年)	令和32年 (2050年)	令和42年 (2060年)
98,367	92,197	81,057	67,231	59,553	53,922

(図3) 人口の将来展望



# 第3章 定住自立圏形成方針に基づき推進する具体的取組

定住自立圏共生ビジョンの体系図



# 1. 生活機能の強化に係る政策分野

## (1) 医療

### 【形成方針】

#### ア 地域医療体制の充実と救急医療体制の確保

市の中核医療施設である平鹿総合病院と市立横手病院・市立大森病院を中心に、地域の医療機関との連携を強化し、市民がいつでも必要なときに適切な医療が受けられ、幅広い医療ニーズに対応できるよう高度・特殊医療や救急医療体制の充実を図る。

また、休日・夜間における重症救急患者の二次救急医療を確保するため、圏域内の平鹿総合病院・市立横手病院・市立大森病院において実施している病院群輪番制事業と横手市医師会の協力による在宅当番医制について支援する。

さらに、情報通信技術（ICT）等を活用した診療などによる地域医療の確保に努めるとともに、恒常的な医師不足（医師少数区域）の解消に向け、地域医療を支える人材の育成・確保対策に努める。

#### イ 各病院の機能強化支援

圏域内の住民が必要に応じて適切な医療が受けられるように、地域医療の中核となる平鹿総合病院への医療運営費支援と市立横手病院・市立大森病院の医療機器整備等による機能強化を図る。

### 【基本目標】

基本目標	現状値 (R3)	目標値 (R8)	設定根拠等
「消防・救急体制の充実」に対する市民満足度	69.7 点	75.2 点	市民アンケート

①事業名	病院群輪番制病院運営事業						 
②関係地域	横手地域・大森地域						
③事業概要	休日・夜間における重症救急患者の二次救急医療確保のため、平鹿総合病院、市立横手病院・市立大森病院の3病院が輪番制にて実施できるよう、必要な財政支援を行う。						
④期待される効果	休日・夜間における病院群輪番制の当番病院の負担軽減を図り、24時間体制の救急医療体制を確保することができる。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	27,833	27,833	27,833	27,833	27,833	139,165	
⑥国県補助事業等の名称等							

⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：平鹿総合病院及び市立横手病院による高度先進的な専門医療や二次救急医療の提供と、病院群輪番制による休日・夜間の一次救急医療の提供に対して支援する。</p> <p>周辺地域：市立大森病院は、地域包括医療や二次救急医療を提供するとともに、病院群輪番制による休日・夜間の一次救急医療を提供する。</p>	
⑧目標値	休日又は夜間における二次医療の受入実施率の向上	
	現状値 (R3)	目標値 (R8)
	97.1% (R2 年度実績)	100%

①事業名	<b>在宅当番医制運営事業</b>  					
②関係地域	全地域					
③事業概要	休日・祝日の診療所による一次救急医療確保及び市民に対する救急医療の普及啓発事業を実施できるよう、必要な財政支援を行う。					
④期待される効果	当番制ではあるものの、住民にとって身近である、かかりつけ医に診察してもらうことによって、安心感を得ることができる。					
⑤年度別概算事業費(千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	4,455	4,455	4,455	4,455	4,455	22,275
⑥国県補助事業等の名称等						
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：周辺地域内の医療機関との連携と、在宅当番医制による休日の一次救急医療の提供を支援する。</p> <p>周辺地域：横手地域内の医療機関との連携と、在宅当番医制による休日の一次救急医療の提供を支援する。</p>					
⑧目標値	一日あたりの従事医師率の向上 (当番従事医師数/当番日数)					
	現状値 (R3)			目標値 (R8)		
	115.2% (R2 年度実績)			100%以上		

①事業名	救命救急センター医療運営事業							
②関係地域	横手地域							
③事業概要	救命救急医療体制確保のため、平鹿総合病院が運営する救命救急センターの体制整備に関する必要な財政支援を行う。							
④期待される効果	救命救急センターの体制整備に係る当該病院の負担軽減を図り、救命救急医療体制を確保することができる。							
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計		
	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	110,000		
⑥国県補助事業等の 名称等								
⑦役割分担に係る 基本的な考え方	横手地域：救命救急医療体制を整備した医療機関を支援するとともに、救命救急医療が円滑に運営されるよう、地域住民に対し必要な情報を提供する。 周辺地域：救命救急医療体制が円滑に運営されるよう、地域住民に対し必要な情報を提供する。							
⑧目標値	救急搬送時に医療機関受入照会が1回で終了した割合（年間）							
	現状値（R3）			目標値（R8）				
	92.6%（R2年度実績）			100%				



## (2) 健康・福祉

### 【形成方針】

#### ア 健康の駅事業の推進

子どもから高齢者まで全ての市民の健康をテーマにした市民の交流拠点健康の駅において、主に運動を切り口とした安全で効果的な健康づくり（生活習慣病予防や介護予防等）が実践できるように支援する。

また、健康寿命の延伸を目的に、身体的な健康の維持・増進のみならず、いきいきと自分らしく生きるために重要な「こころの健康」の維持など市民の総合的な健康づくりを支援する。

#### イ 地域ケアシステムの充実

高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持ち、豊かで充実した生活を送ることができるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けて、多様な主体による連携、社会資源の充実や健康と生きがいづくりの推進を図る。

### 【基本目標】

基本目標	現状値 (R3)	目標値 (R8)	設定根拠等
「保健活動・健康づくりの推進」に対する市民満足度	67.3 点	73.6 点	市民アンケート
「高齢者福祉の充実」に対する市民満足度	62.8 点	73.6 点	市民アンケート

①事業名	健康の駅推進事業 (大・中・小規模健康の駅)						
②関係地域	全地域						
③事業概要	健康の駅において、運動をきっかけとした健康増進プログラムを実施し、市民と行政が一体となった協働による健康づくりを推進する。						
④期待される効果	生活習慣病予防、介護予防および地域コミュニティの活性化などが期待される。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	43,077	43,077	43,077	43,077	43,077	215,385	
⑥国県補助事業等の名称等	介護保険特別会計地域支援事業（介護予防）など						
⑦役割分担に係る基本的な考え方	横手地域：健康の駅事業の企画・運営を行い、事業の更なる推進と体制強化を図る。大規模駅では利用者個々の身体特性に応じた健康づくり支援、中規模駅では生涯学習活動や地						

	<p>域活動等と連携した地域ぐるみの健康づくり支援、小規模駅では地域の顔なじみの仲間が声を掛け合い、身近なところで健康づくり支援を行う。</p> <p>周辺地域：大規模駅では利用者個々の身体特性に応じた健康づくり支援、中規模駅では生涯学習活動や地域活動等と連携した地域ぐるみの健康づくり支援、小規模駅では地域の顔なじみの仲間が声を掛け合い、身近なところで健康づくり支援を行う。</p>	
⑧目標値	健康の駅利用者数（実人数）の増加	
	現状値（R3）	目標値（R8）
	2,959人（R2年度実績） （6,632人（R1年度実績））	9,700人

①事業名	<b>包括的・継続的ケアマネジメント支援事業</b> 					
②関係地域	全地域					
③事業概要	介護事業者、医療機関等の多職種で構成する地域ケア会議を開催し、地域における連携の向上とネットワーク形成を推進する。また、個々の介護支援専門員に対する支援を行う。					
④期待される効果	多職種相互の協働等により連携し、地域における包括的かつ継続的な支援体制が整備される。					
⑤年度別概算事業費（千円）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	2,708	2,708	2,708	2,708	2,708	13,540
⑥国県補助事業等の名称等	地域支援事業交付金					
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：介護事業者、医療機関、民生委員等で構成する地域ケア会議を開催し、事例検討等を通じて地域がもつ課題を抽出し、多職種協働による連携した支援体制の構築を推進する。</p> <p>周辺地域：各地域においても地域ケア会議を開催し、事例報告検討等を通じて医療・保険・福祉分野の連携を推進する。地域がもつ課題を抽出し多職種協働による連携した支援体制の構築を推進する。</p>					
⑧目標値	地域ケア会議開催数（年間開催数）					
	現状値（R3）			目標値（R8）		
	65回（R2年度実績）			34回		

①事業名	認知症高齢者見守り事業						
②関係地域	全地域						
③事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症に対する正しい知識を深め、認知症等の方々やその家族を地域で支えていくサポーターを養成する。</li> <li>・「QRコード付きシール」を活用した徘徊等認知症高齢者の見守り支援体制の構築を目指す。</li> <li>・一般企業、団体等で構成される見守りネットワークを構築し地域全体での認知症高齢者等の見守り支援体制の整備を進める。</li> </ul>						
④期待される効果	認知症等の方々を地域全体で見守る環境が整備される。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計	
	1,532	1,532	1,532	1,532	1,532	7,660	
⑥国県補助事業等の名称等	地域支援事業交付金						
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：認知症サポーター養成講座や徘徊見守り訓練を開催し、正しい知識のもとで認知症高齢者等の要援護者を地域で見守り支え合う体制を整備する。</p> <p>周辺地域：各地域においても徘徊見守り訓練等を開催し、正しい知識を身に付けた認知症サポーター等のもとで、認知症高齢者を地域での見守りと支え合いを推進する。</p>						
⑧目標値	認知症サポーター養成講座受講者数（年間延べ受講者数）						
	認知症高齢者等見守りネットワーク登録事業者数						
	現状値（R3）			目標値（R8）			
	385人（R2年度実績）			700人			
	45事業所			90事業所			



安心見守りシール



### (3) 産業

#### 【形成方針】

##### ア 農業の担い手育成支援

本圏域の基幹産業である農業の担い手の高齢化、後継者不足が課題となっていることから、地域の中核的農家に対して地域農業のリーダー的役割と農業のプロとしての意識醸成を促すとともに、認定農業者のメリットと役割を明確にし、認定農業者への誘導を図る。

また、認定農業者や農業法人等がそれぞれの農業形態別の所得向上につながる経営モデルを設定し、経営・営農技術の情報を広く伝えることにより、地域農業を支える担い手の営農意欲の向上を図るとともに、経営の効率化を促進し所得の向上を図る。

さらに、県や市独自の研修制度を活用し、新規就農者の育成に努める。

##### イ 食と農からのまちづくり

本圏域は、横手盆地の特有の気候・立地条件と肥沃な土壌を背景とした稲作を中心とする穀倉地帯であるが、野菜、果樹等の稲作以外の農産物生産も盛んな地域であり、農業が基幹産業となっている。

また、特色ある優れた食材や食文化、発酵食品等、豊富な地域資源を最大限に生かし、産地収益力の向上に繋げるため、地域農産物のブランド化と産地づくり、発酵文化に関する情報発信、生産と加工や販売との連携による6次産業化の推進、地産地消の促進等の取組により「食と農からのまちづくり」の推進を図る。

##### ウ 地元企業支援及び企業誘致による雇用の場の確保

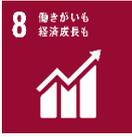
地域経済を支える地元企業の経営基盤強化や起業・創業に対する各種支援制度の充実を図るとともに、積極的な企業誘致に努め、雇用の場の拡大を図る。

#### 【基本目標】

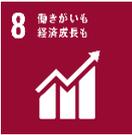
基本目標	現状値 (R3)	目標値 (R8)	設定根拠等
「農林業の振興」に対する市民満足度	63.3 点	68.9 点	市民アンケート
「工業の振興」に対する市民満足度	60.7 点	66.9 点	市民アンケート
「商業の振興」に対する市民満足度	59.5 点	66.0 点	市民アンケート

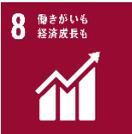
①事業名	フロンティア農業者育成事業						8 働きがいも経済成長も	11 住み続けられるまちづくりを	15 陸の豊かさもやっとう
②関係地域	全地域								
③事業概要	新規又は新たな部門開始のために必要な技術を身に付けようとする方々を対象として、県の各試験場において品目ごとに研修を実施するとともに、研修生に対して研修費等を補助する。								
④期待される効果	地域農業を担う農業者等の確保・育成や農業技術の習得が可能となる。								
⑤年度別概算事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計			
	3,600	6,000	6,000	6,000	6,000	27,600			
⑥国県補助事業等の名称等	フロンティア農業者研修事業費補助金								
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：国・県・農業団体等と連携して、担い手に関する情報収集に努めるとともに、研修や支援制度等の様々な情報を地域内及び周辺地域に発信して担い手の育成に努める。</p> <p>周辺地域：本圏域の農業を支える人材輩出の中心として、農業法人等の整備を進めるとともに、新規就農者の確保に努める。</p>								
⑧目標値	新規就農者数								
	現状値 (R3)				目標値 (R8)				
	40人 (R2年度実績)				30人				



①事業名	<b>新規就農者レベルアップ事業</b>   					
②関係地域	全地域					
③事業概要	意欲ある地域農業の担い手の確保・育成のため、新規就農者や認定農業者を対象として営農のサポート活動や研修等を実施する。					
④期待される効果	地域農業を担う農業者等の確保・育成や農業技術の習得が可能となる。					
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度 549	R5年度 549	R6年度 549	R7年度 549	R8年度 549	計 2,745
⑥国県補助事業等の名称等						
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：国・県・農業団体等と連携して、担い手に関する情報収集に努めるとともに、研修や支援制度等の様々な情報を地域内及び周辺地域に発信して担い手の育成に努める。</p> <p>周辺地域：本圏域の農業を支える人材輩出の中心として、農業法人等の整備を進めるとともに、新規就農者の確保に努める。</p>					
⑧目標値	新規就農者数					
	現状値 (R3)			目標値 (R8)		
	40人 (R2年度実績)			30人		



①事業名	「横手で農業を」スタート アップ支援事業   					
②関係地域	全地域					
③事業概要	新規就農者の確保及び育成を図るため、就農相談会や農業体験を実施する。また、新規に就農する移住者に対する家賃補助等、定着支援を行う。農業労働力を確保するため、作業研修等を実施する。					
④期待される効果	地域農業を担う農業者等の確保・育成や農業技術の習得が可能となる。					
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	1,273	1,273	1,273	1,273	1,273	6,365
⑥国県補助事業等の名称等						
⑦役割分担に係る基本的な考え方	横手地域：国・県・農業団体等と連携して、担い手に関する情報収集に努めるとともに、研修や支援制度等の様々な情報を地域内及び周辺地域に発信して担い手の育成に努める。 周辺地域：本圏域の農業を支える人材輩出の中心として、農業法人等の整備を進めるとともに、新規就農者の確保に努める。					
⑧目標値	新規就農者数					
	現状値 (R3)			目標値 (R8)		
	40人 (R2年度実績)			30人		

①事業名	「横手のホップ」ステップ アップ事業   					
②関係地域	全地域					
③事業概要	持続可能な産地づくりを目指し、栽培技術の向上、生産基盤の強化による経営の安定化を図りながら、新たなホップ生産者の確保・育成を図る。農業労働力を確保するため、作業研修等を実施する。					
④期待される効果	地域農業を担う農業者等の確保・育成や農業技術の習得が可能となる。					
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	5,305	5,305	5,305	5,305	5,305	26,525
⑥国県補助事業等の名称等						

⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：国・県・農業団体等と連携して、担い手に関する情報収集に努めるとともに、研修や支援制度等の様々な情報を地域内及び周辺地域に発信して担い手の育成に努める。</p> <p>周辺地域：本圏域の農業を支える人材輩出の中心として、農業法人等の整備を進めるとともに、新規就農者の確保に努める。</p>	
⑧目標値	新規就農者数	
	現状値 (R3)	目標値 (R8)
	40 人 (R2 年度実績)	30 人

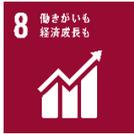
①事業名	<b>地域で学べ農業技術研修事業</b>   					
②関係地域	全地域					
③事業概要	農業の担い手確保や農業技術習得のため、園芸振興拠点センターで農業技術研修の受講者に対して奨励金を交付する。					
④期待される効果	地域農業を担う農業者等の確保・育成や農業技術の習得が可能となる。					
⑤年度別概算事業費(千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	6,000	12,000	12,000	12,000	12,000	54,000
⑥国県補助事業等の名称等	地域で学べ農業技術研修事業費補助金					
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：国・県・農業団体等と連携して、担い手に関する情報収集に努めるとともに、研修や支援制度等の様々な情報を地域内及び周辺地域に発信して担い手の育成に努める。</p> <p>周辺地域：本圏域の農業を支える人材輩出の中心として、農業法人等の整備を進めるとともに、新規就農者の確保に努める。</p>					
⑧目標値	新規就農者数					
	現状値 (R3)			目標値 (R8)		
	40 人 (R2 年度実績)			30 人		

①事業名	横手の食農推進事業						12 つくる責任 つかう責任	15 陸の豊かさも 守ろう
②関係地域	全地域							
③事業概要	各地域の様々な農産物の質の高い地域資源を生かした取組を進め、圏域内産品と個別産品のブランド化を図り、横手の食と農に関する産業の振興や食文化の継承を図る。							
④期待される効果	地域産品イメージの向上とブランド化により、地域産品の付加価値と農業所得が向上し、圏域そのもののブランド化が図られる。							
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計		
	4,803	4,803	4,803	4,803	4,803	24,015		
⑥国県補助事業等の 名称等								
⑦役割分担に係る 基本的な考え方	<p>横手地域：広報、FM、ホームページ、催事などにより、「食と農」に関する取組や地域の食材、食文化、発酵食品等の情報発信に努める。また、学校給食等への地元食材の利用を促進するとともに、6次産業化への取組を支援する。</p> <p>周辺地域：各地域の様々な食材、食文化等の情報を発信し、地域ブランド産品の更なる品質向上を図るとともに、地域特産となりうる農産物の開発や研究に努める。また、学校給食等への地元食材の供給を促進する。</p>							
⑧目標値	地産地消を意識し生活している市民の割合							
	現状値 (R3)			目標値 (R8)				
	72.9% (R2年度実績)			75.0%				



①事業名	発酵文化のまちづくり事業						
②関係地域	全地域						
③事業概要	圏域内の伝統食材等を活用した発酵技術の研究や商品開発を行い、「食」や「環境」をキーワードとした発酵文化のまちづくりを推進する。						
④期待される効果	市内各地域の魅力ある食文化、特に発酵食の発達については本市の大きな特徴であり、それらの食文化の継承と地域ブランドの創出により、圏域そのもののブランド化が図られる。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計	
	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500	
⑥国県補助事業等の名称等							
⑦役割分担に係る基本的な考え方	横手地域：圏域内の地域ブランド食材の情報発信に努める。 周辺地域：地域ブランド食材の更なる品質向上に努めるとともに、地域特産となりうる農産物の開発や研究に努める。						
⑧目標値	「発酵」をキーワードとした事業取組件数						
	現状値 (R3)			目標値 (R8)			
	3件 (R2年度実績)			5件			



①事業名	企業誘致対策事業							
②関係地域	全地域							
③事業概要	企業訪問や企業懇談会等の実施により、当市の工業団地の売り込みと情報収集を行う。							
④期待される効果	新たな就業の場が確保され、経済はもとより地域社会の活性につながる。							
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計		
	3,008	3,008	3,008	3,008	3,008	15,040		
⑥国県補助事業等の名称等								
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：圏域における産業基盤の中核として、自動車関連企業をはじめとする製造業等の集積を図るため、横手第二工業団地への立地を主眼においた企業誘致に努める。</p> <p>周辺地域：積極的な企業誘致に努め、雇用の場の拡大を図る。</p>							
⑧目標値	横手管内新卒者（高卒者）の県内就職希望者率							
	現状値（R3）			目標値（R8）				
	61.3%（R2年度実績）			65%				

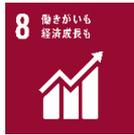
①事業名	企業振興・企業立地促進事業							
②関係地域	全地域							
③事業概要	<p>企業振興条例に基づく既存企業に対する優遇制度による設備投資や新規雇用等の支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・固定資産税課税免除（5年間）</li> <li>・雇用奨励金（雇用増1名につき30万円、横手市民に限る。）</li> <li>・環境整備推進奨励金（30% 上限500万円）</li> <li>・雪対策奨励金（除雪機器購入費の50% 上限500万円）</li> <li>・除雪委託費、融雪経費等の50% 3年間 上限300万円/年）</li> </ul>							
④期待される効果	雇用増や新商品の開発が期待される。							
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計		
	204,312	79,000	79,000	79,000	79,000	520,312		
⑥国県補助事業等の名称等								

⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：横手地域へ立地している企業の経営基盤強化のため、経済状況に即した支援制度を整備するとともに、利用を促進し、事業の拡大と雇用促進を図る。</p> <p>周辺地域：各地域へ立地している企業の経営基盤強化のため、経済状況に即した支援制度を整備するとともに、利用を促進し、事業の拡大と雇用促進を図る。</p>	
⑧目標値	横手市企業振興条例に基づく指定企業数（累計）	
	現状値（R3）	目標値（R8）
	7社（R2年度実績）	7社

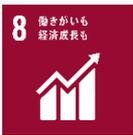
①事業名	<b>地域商業活性化事業</b> 					
②関係地域	全地域					
③事業概要	<p>商業の活性化を目的とするイベントや研修等の開催費及び商店街等が維持管理する街路灯に係る電気料等の補助、商店街の空き店舗を活用して営業を開始するための経費の補助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商い賑わい創出事業（1/2以内、上限30万円）</li> <li>・商店街街路灯維持管理費補助金（電気料等の2/5以内）</li> <li>・空き店舗等利活用支援事業（1/2以内、上限50万円、既存店の場合は上限30万円）</li> </ul>					
④期待される効果	地域商店街の集客力の向上が期待される。					
⑤年度別概算事業費（千円）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	7,470	7,470	7,470	7,470	7,470	37,350
⑥国県補助事業等の名称等						
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：横手地域へ立地している企業の経営基盤強化のため、経済状況に即した支援制度を整備するとともに、利用を促進し、事業の拡大と雇用促進を図る。</p> <p>周辺地域：各地域へ立地している企業の経営基盤強化のため、経済状況に即した支援制度を整備するとともに、利用を促進し、事業の拡大と雇用促進を図る。</p>					
⑧目標値	空き店舗利活用支援事業を活用した件数					
	現状値（R3）			目標値（R8）		
	2件（R2年度実績）			13件		

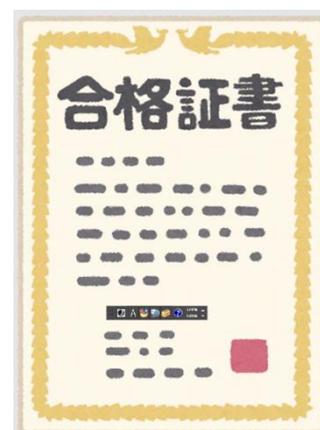
①事業名	ものづくり産業新展開推進事業						8 飛ぎがいも 経済成長も	11 住み続けられる まちづくりを
②関係地域	全地域							
③事業概要	地域産業を担う人材を確保するため、高校生等を対象とした企業見学会、企業説明会を実施する。また、自動車関連産業等で要求される高度な品質に対応するため、生産現場を対象とする研修会等を実施する。							
④期待される効果	経済はもとより地域社会の活性につながる。							
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計		
	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000		
⑥国県補助事業等の 名称等	地域重点施策推進事業交付金							
⑦役割分担に係る 基本的な考え方	<p>横手地域：横手地域へ立地している企業の経営基盤強化のため、経済状況に即した支援制度を整備するとともに、利用を促進し、事業の拡大と雇用促進を図る。</p> <p>周辺地域：各地域へ立地している企業の経営基盤強化のため、経済状況に即した支援制度を整備するとともに、利用を促進し、事業の拡大と雇用促進を図る。</p>							
⑧目標値	企業見学会協力企業数（延べ）							
	現状値（R3）			目標値（R8）				
	28件（R2年度実績）			35件				

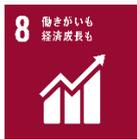


①事業名	横手市起業家育成事業						
②関係地域	全地域						
③事業概要	<p>市内で起業しようとする方に対し、ワンストップ窓口の設置及び起業セミナー等の開催、起業・創業時の初期投資に係る経費の一部補助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 起業ワンストップ相談事業</li> <li>・ 起業・創業支援事業</li> </ul> <p>[一般枠] 1/3 以内 上限 50 万円          [移住枠] 1/2 以内 上限 80 万円          [ICT枠] 1/2 以内 上限 100 万円</p>						
④期待される効果	新規企業の増加により、雇用創出と地域経済の活性化が期待される。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	22,176	22,176	22,176	22,176	22,176	110,880	
⑥国県補助事業等の名称等							
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：起業に意欲のある人材に対してセミナー、研修会等を開催するとともに、起業支援の体制や制度を整備する。</p> <p>周辺地域：起業に意欲のある人材に対してセミナー、研修会等の開催を周知するとともに、横手地域と連携して起業支援を行う。</p>						
⑧目標値	起業ワンストップ相談窓口件数						
	現状値 (R3)			目標値 (R8)			
	150 件 (R2 年度実績)			150 件			



①事業名	中小企業人財育成支援事業						
②関係地域	全地域						
③事業概要	市内企業及び事業者の人材育成を支援するため、従業員に対して行う資格取得経費の一部助成を行う。 補助率 1/2 以内 上限 300 千円 (年度内 3 回まで申請可能)						
④期待される効果	市内企業及び事業者の従業員の人材育成を通じ、市内企業の経営基盤の強化が期待される。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	15,000	
⑥国県補助事業等の名称等							
⑦役割分担に係る基本的な考え方	横手地域：横手地域へ立地している企業の従業員の人材育成を推進することにより経営基盤の強化を図る。 周辺地域：各地域へ立地している企業の従業員の人材育成を推進することにより経営基盤の強化を図る。						
⑧目標値	採択件数						
	現状値 (R3)				目標値 (R8)		
	-件 (R2 年度実績)				20 件		



①事業名	中小企業設備導入支援事業							
②関係地域	全地域							
③事業概要	市内商工業事業者の生産性向上を図るため、先端設備導入に係る経費の一部助成を行う。 補助率 1/2 以内 上限 2,000 千円							
④期待される効果	市内商工業事業者の生産性の向上により、経営基盤の強化が期待される。							
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計		
	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	120,000		
⑥国県補助事業等の名称等								
⑦役割分担に係る基本的な考え方	横手地域：横手地域へ立地している商工業事業者の先端設備導入により生産性の向上を図る。 周辺地域：各地域へ立地している商工業事業者の先端設備導入により生産性の向上を図る。							
⑧目標値	採択件数							
	現状値 (R3)			目標値 (R8)				
	5 件 (R2 年度実績)			12 件				



## (4) 教育文化

### 【形成方針】

#### ア 山や川などの自然環境を利用した体験教育の推進

本圏域は、奥羽山系と出羽丘陵の山並みが両脇を囲み、その中央を雄物川、その支流に横手川、成瀬川、皆瀬川等の河川が流れ、豊かな自然環境や里山環境を有していることから、その環境を生かした体験教育の推進を図る。

#### イ 心を豊かにする生涯学習と生涯スポーツの推進

市民が豊かな教養を身に着けるとともに、心身の健全な育成を図るため、芸術文化やスポーツにふれる機会や体験活動ができる場の提供と取組を支援する。

### 【基本目標】

基本目標	現状値 (R3)	目標値 (R8)	設定根拠等
「生涯学習の推進」に対する市民満足度	66.0 点	71.5 点	市民アンケート

①事業名	農山村体験学習交流施設運営事業							
②関係地域	増田地域							
③事業概要	農山村体験学習交流施設「釣りキチ三平の里」を運営し、圏域内の小学生等を対象とした農山村体験学習を実施する。							
④期待される効果	自然環境に恵まれた故郷の良さを体験することによって、愛郷心を育み、将来的な定住者増加につながることを期待される。							
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計		
	8,545	8,545	8,545	8,545	8,545	42,725		
⑥国県補助事業等の名称等								
⑦役割分担に係る基本的な考え方	横手地域：自然環境を利用した体験教育のニーズ等の状況を把握するとともに、周辺地域情報の集約と発信に努める。 周辺地域：体験教育ができる施設・場所等を提供するとともに、具体的な実践にあたっての体験教育プログラムの確立とその推進を図る。							
⑧目標値	農山村体験学習交流施設の利用者数							
	現状値 (R3)				目標値 (R8)			
	2,949 人 (R2 年度実績)				3,000 人			

①事業名	生涯学習推進事業						
②関係地域	全地域						
③事業概要	市民が豊かな教養を身につけるために、ライフステージに応じた学習機会の充実と支援を実施する。また、子どもたちの豊かな情操と心身の健全な成長のため、各種体験活動事業や交流事業などを実施する。						
④期待される効果	各年齢層の豊かな教養の充実と、心身の健全な成長が期待される。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計	
	5,423	5,423	5,423	5,423	5,423	27,115	
⑥国県補助事業等の名称等							
⑦役割分担に係る基本的な考え方	横手地域：他地域との交流を促進するとともに、ライフステージに応じた学習機会の充実と学習への取組を支援する。 周辺地域：公民館等の生涯学習施設を活用し、ライフステージに応じた学習機会の充実と学習への取組を支援する。						
⑧目標値	わくわく子ども教室の参加者に対する出席率						
	現状値 (R3)			目標値 (R8)			
	93.7% (R2年度実績)			97.0%			



①事業名	マンガ活用推進事業						
②関係地域	全地域						
③事業概要	マンガの魅力を活用した子どもの教育や豊かな学びを提供し、地域への愛着や誇りの醸成を図る。						
④期待される効果	子どもたちの地域への愛着や誇りの醸成が期待される。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計	
	3,685	3,685	3,685	3,685	3,685	18,425	
⑥国県補助事業等の名称等							
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：市内小中学校を対象に増田まんが美術館教室を実施し、マンガを活用した教育の推進を図る。</p> <p>周辺地域：増田まんが美術館の活用や、市内小中学校を対象に増田まんが美術館教室を実施するなど、マンガを活用した教育の推進を図る。</p>						
⑧目標値	マンガを活かした特別授業等に参加した市内小中学校数						
	現状値 (R3)			目標値 (R8)			
	3校 (R2年度実績)			12校			



①事業名	大型公共施設整備事業					
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>4 質の高い教育を みんなに</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられる まちづくりを</p> </div> </div>					
②関係地域	全地域					
③事業概要	県下第2の都市である当市の役割を果たし続けていくための未来へ向けた投資の一つとして老朽化した横手体育館と横手市民会館の移転建替え整備を実施する。					
④期待される効果	より一層のスポーツ及び芸術活動の活発化を通じた市民生活の質的向上と交流人口の増加による地域経済の活性化が図られる。					
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	357,140	1,700,310	3,404,250	7,085,500	336,600	12,883,800
⑥国県補助事業等の名称等	社会資本整備総合交付金、都市構造再編集集中支援事業費補助金					
⑦役割分担に係る基本的な考え方	横手地域：市民が豊かな教養を身に着けるとともに、心身の健全な育成を図るため、芸術文化やスポーツにふれる機会、体験活動ができる場の提供と取組を推進する。					
	周辺地域：市民が豊かな教養を身に着けるとともに、心身の健全な育成を図るため、芸術文化やスポーツにふれる機会、体験活動ができる場の提供と取組を推進する。					
⑧目標値	横手体育館・横手市民会館整備に関する年度ごとの進捗率					
	現状値 (R3)			目標値 (R8)		
	0% (R2年度実績)			100%		



## (5) 環境

### 【形成方針】

#### ア ごみの減量・資源化の推進

リサイクルの推進やごみの減量化、生ごみの堆肥化などの3R（リデュース、リユース、リサイクル）活動などを推進し、環境負荷を低減するための循環型社会に向けた一層の取組を図る。

市民、事業者に対しては、ごみ分別アプリやホームページ、チラシ等を活用し分別の見える化を行い、分別意識の向上を図るとともに、分別の適正化を推進する。

また、ごみの資源化の取組として、生ごみの堆肥化や焼却熱を利用した発電、焼却主灰の全量セメント原料化、空き瓶、小電、ペットボトル等の回収等を促進し、ごみの資源化を図る。

#### イ 再生可能エネルギーの利用の促進

個人住宅や事業者等への再生可能エネルギーの普及促進により、二酸化炭素排出量を削減するとともに、地球温暖化対策の推進を図る。

また、公共施設への積極的な導入により、エネルギーの地産地消や災害時のエネルギーの確保を目指す。

#### ウ 森林吸収源対策の確実な実施

施業の集約化、路網の整備及び計画的な間伐等の森林整備を推進する。合わせて森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度においては境界又は施業区域の合意形成を図りながら未整備森林の整備を推進するほか、木材利用促進や普及啓発等にも取り組み、森林吸収源となる森林資源の整備、保全に努める。

### 【基本目標】

基本目標	現状値 (R3)	目標値 (R8)	設定根拠等
「地球温暖化防止活動の推進」に対する市民満足度	69.2点	72.2点	市民アンケート

①事業名	<b>集団資源回収活動等補助事業</b> <b>(ごみ収集費)</b>						 
②関係地域	全地域						
③事業概要	リサイクルの推進やごみの減量化、生ごみの堆肥化などの3R（リデュース、リユース、リサイクル）活動などを推進するため、ごみ集積所、生ごみ処理容器等の設置および集団資源回収活動に対し補助金を交付する。						
④期待される効果	適正なごみ収集と、環境負荷の軽減が期待できる。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計	
	5,441	5,441	5,441	5,441	5,441	27,205	
⑥国県補助事業等の名称等							
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：市民、事業者に対し、適正な分別方法を周知し、ごみの減量や資源化の意識醸成を図り、地域での資源化を促進する。</p> <p>周辺地域：各集積所での家庭系ごみの分別の適正化を図るとともに、ごみの減量や資源化の意識醸成による、地域での資源化を促進する。</p>						
⑧目標値	一人一日あたりごみ排出量						
	現状値 (R3)			目標値 (R8)			
	941g (R2年度実績)			890g			



①事業名	<b>再生可能エネルギー設備等導入 促進事業</b>   					
②関係地域	全地域					
③事業概要	個人住宅や事業者等への再生可能エネルギーの普及促進により、二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化対策の推進を図る。					
④期待される効果	環境負荷の軽減が期待できる。					
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4 年度 1,462	R5 年度 1,462	R6 年度 1,462	R7 年度 1,462	R8 年度 1,462	計 7,310
⑥国県補助事業等 の名称等						
⑦役割分担に係る 基本的な考え方	<p>横手地域：地中熱利用による融雪設備の普及を図り、除排雪作業の負担軽減を図るとともに、再生可能エネルギー活用の理解醸成を図る。</p> <p>また、太陽光発電設備等、再生可能エネルギー設備導入を促進し、カーボンニュートラルに向けた取組に努める。</p> <p>周辺地域：周辺地域においても、地中熱利用による融雪設備の普及を図り、除排雪作業の負担軽減を図るとともに、再生可能エネルギー活用の理解醸成を図る。</p> <p>また、太陽光発電設備等、再生可能エネルギー設備導入を促進し、カーボンニュートラルに向けた取組に努める。</p>					
⑧目標値	再生可能エネルギー設備等導入者数					
	現状値 (R3)			目標値 (R8)		
	4 人 (R2 年度実績)			4 人		



①事業名	民有林整備育成事業							
②関係地域	全地域							
③事業概要	意欲的な森林所有者や若い森林施業者が、森林の保育や整備がおこなわれるよう、森林所有者へ施業負担金の一部を助成する。							
④期待される効果	森林の適正な管理が期待できる。							
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計		
	1,893	1,800	1,800	1,800	1,800	9,093		
⑥国県補助事業等の名称等								
⑦役割分担に係る基本的な考え方	横手地域：森林整備の促進に関する取組や、地域の森林資源の整備、保全を推進する。							
	周辺地域：地域の特徴を生かした森林整備の促進に関する取組に努めるとともに、地域の森林資源の整備、保全を推進する。							
⑧目標値	民有林施業面積							
	現状値 (R3)				目標値 (R8)			
	55.15ha (R2年度実績)				40ha			

①事業名	造林事業							
②関係地域	全地域							
③事業概要	市有林の適正な整備保全をもって、公益的機能の維持に資するとともに、森林資源を活用した持続的な森林経営の実現を図る。							
④期待される効果	森林の適正な管理が期待できる。							
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計		
	139,173	89,900	89,900	89,900	89,900	498,773		
⑥国県補助事業等の名称等								
⑦役割分担に係る基本的な考え方	横手地域：森林整備の促進に関する取組や、地域の森林資源の整備、保全を推進する。							
	周辺地域：地域の特徴を生かした森林整備の促進に関する取組に努めるとともに、地域の森林資源の整備、保全を推進する。							
⑧目標値	市有林間伐面積							
	現状値 (R3)				目標値 (R8)			
	42.42ha (R2年度実績)				80ha			

①事業名	森林経営管理事業						 
②関係地域	全地域						
③事業概要	森林経営管理制度により市が経営管理権を取得した森林について、経営管理権集積計画に基づき森林整備等の経営管理を実施する。併せて、人材育成や普及啓発等、森林整備の促進に関する取組を実施する。						
④期待される効果	森林の適正な管理が期待できる。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計	
	9,925	14,000	14,000	14,000	14,000	65,925	
⑥国県補助事業等の名称等							
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：森林整備の促進に関する取組や、地域の森林資源の整備、保全を推進する。</p> <p>周辺地域：地域の特徴を生かした森林整備の促進に関する取組に努めるとともに、地域の森林資源の整備、保全を推進する。</p>						
⑧目標値	経営管理権集積計画策定数						
	現状値 (R3)			目標値 (R8)			
	4件 (R2年度実績)			30件			



## (6) 防災

### 【形成方針】

#### ア 防災・減災対策の推進

災害時や緊急時において、迅速かつ的確な対応を行うため、平常時から地域や企業等との連携・協力関係の構築、非常時備蓄物資確保、防災情報の適切な伝達手段の整備等に取り組む。

また、市民の防災に対する意識の醸成や知識の習得に努め、大規模災害発生時における相互応援・協力体制の整備による避難者の受け入れなど主体的な防災活動を促進する。

### 【基本目標】

基本目標	現状値 (R3)	目標値 (R8)	設定根拠等
「消防・防災体制の充実」に対する市民満足度	69.7 点	75.2 点	市民アンケート

①事業名	災害対策事業							
②関係地域	全地域							
③事業概要	防災備品を適切に管理するとともに、防災訓練や自主防災リーダーを育成することで防災に対する意識醸成を図る。							
④期待される効果	防災に対する意識醸成が図られる。							
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計		
	8,472	8,472	8,472	8,472	8,472	42,360		
⑥国県補助事業等の名称等								
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：地域や企業等との連携・協力のもと非常時備蓄物資の整備に努めるとともに、周辺地域で物資が不足するような場合は供給に当たる。</p> <p>また、平常時からの情報収集及び情報伝達方法の確立により、災害時や緊急時に迅速かつ的確な対応ができる体制の整備に努めるとともに、帰宅困難者等に対する一時滞在施設の確保など、避難者受け入れ体制を強化する。</p> <p>周辺地域：周辺地域においても、平常時から情報収集及び情報伝達方法の確立、避難者の受け入れ態勢の確保により、災害時や緊急時に迅速かつ的確な対応ができる体制の整備に努める。</p>							
⑧目標値	防災備蓄品（主要 19 品目）の目標量に対する備蓄割合							
	現状値 (R3)				目標値 (R8)			
	100% (R2 年度実績)				100%			

①事業名	消防施設整備事業							
②関係地域	全地域							
③事業概要	発災時の被害を最小化するための関係資機材等の整備を実施する。							
④期待される効果	発災時の減災に寄与する。							
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計		
	95,422	103,445	94,896	92,939	65,083	451,785		
⑥国県補助事業等の名称等	消防防災施設等整備費補助金							
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：消防本部による、災害時や緊急時の迅速かつ的確な対応とともに、消防団と連携し被害を最小限に留めるよう、日ごろから関係資機材等の管理、整備に努める。</p> <p>周辺地域：平常時から情報収集及び情報伝達方法の確立、避難者の受け入れ態勢の確保により、災害時や緊急時に迅速かつ的確な対応ができる体制の整備に努める。</p>							
⑧目標値	耐震性貯水槽の設置数（累計）							
	現状値（R3）			目標値（R8）				
	97基（R2年度実績）			114基				



## 2. 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

### (1) 地域公共交通

#### 【形成方針】

#### ア 地域公共交通の確保維持と利便性の向上

地域住民や行政、交通事業者などの多様な関係者が協働・連携しながら、地域公共交通の確保・維持を図る。

市民の足として重要な役割を果たしている生活バス路線については、バス事業者への支援を行い既存運行路線の存続確保を図ることで、公共交通の利用が不便なエリアの拡大防止に努める。

また、路線バス網の間を面的にカバーする横手デマンド交通や、地域の実情に合わせ自家用有償旅客運送等の手法も用いて、持続可能な地域公共交通体制の構築を図る。

#### 【基本目標】

基本目標	現状値 (R3)	目標値 (R8)	設定根拠等
「公共交通機関の利便性の向上」に対する市民満足度	58.8 点	64.5 点	市民アンケート

①事業名	生活バス路線運行費補助事業						
②関係地域	全地域						
③事業概要	圏域内を走る公共交通の維持を目的として、生活バス路線の運行の際に生じる欠損金の一部をバス事業者に対して補助する。						
④期待される効果	圏域住民の交通手段が確保される。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	79,852	79,852	79,852	79,852	79,852	399,260	
⑥国県補助事業等の名称等	生活バス路線等維持費補助金 (県)						
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：バス路線の再編による利便性向上や既存運行路線の存続確保に努める。</p> <p>周辺地域：民間路線バスに対する住民要望の取りまとめや路線・ダイヤ等の見直し検討要望を行うなど、利用者ニーズに沿ったバス運行に向けた事業者との調整を行う。</p>						
⑧目標値	路線バス利用者数 (10月～翌年9月集計)						
	現状値 (R3)			目標値 (R8)			
	403,462 人 (R2 年度実績)			427,400 人			

⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	20,679	20,679	20,679	20,679	20,679	103,395
⑥国県補助事業等の名称等	生活バス路線等維持補助金（マイタウン・バス補助金）（県）					
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：バス路線の再編による利便性向上や既存運行路線の存続確保に努める。</p> <p>周辺地域：代替運行バスに対する住民要望の取りまとめや路線・ダイヤ等の見直し検討要望を行うなど、利用者ニーズに沿ったバス運行に向けた事業者との調整を行う。</p>					
⑧目標値	代替交通利用者数（10月～翌年9月集計）					
	現状値（R3）			目標値（R8）		
	9,555人（R2年度実績）			9,500人		



①事業名	地域公共交通活性化事業						
②関係地域	全地域						
③事業概要	地域・路線ごとの利用状況調査などを実施し、コミュニティバス・デマンド交通・循環バスなど、地域に合った交通システムの検討と運行を行う。						
④期待される効果	圏域住民の交通手段が確保される。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計	
	46,000	46,000	46,000	46,000	46,000	230,000	
⑥国県補助事業等の名称等	生活バス路線等維持費補助金(県)						
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：バス路線の再編による利便性向上や既存運行路線の存続確保に努めるとともに、アクセス性の高い横手バスターミナル周辺の待合環境の向上を図る。また、新たな交通手段等との円滑な乗り継ぎを可能とするようなダイヤについて交通事業者と調整を行うなど、交通結節機能の強化を図る。</p> <p>周辺地域：民間路線バスに対する住民要望の取りまとめや路線・ダイヤ等の見直し検討要望を行うなど、利用者ニーズに沿ったバス運行に向けた事業者との調整を行う。また、地域密着型のコミュニティバス等を運行し、交通空白地域の解消を図る。さらに、新しい交通形態としてのデマンド交通や共助組織等による有償旅客運送等の運行により、住民の利便性向上を図る。</p>						
⑧目標値	デマンド交通利用者数(4月～翌年3月)						
	現状値(R3)			目標値(R8)			
	35,645人(R2年度実績)			39,700人			



横手デマンド交通

**のりあいくん**



横手市循環バス

**よこまるくん**

## (2) 道路等の交通インフラの整備

### 【形成方針】

#### ア 圏域内外を結ぶ道路ネットワークの整備充実

市民生活、産業活動に密接に係る横手地域と周辺地域を結ぶ生活幹線道路を整備し、国・県道へのアクセスをスムーズにするとともに、冬期間における除排雪体制の整備などにより、快適で安全安心な道路環境の確保を図る。

### 【基本目標】

基本目標	現状値 (R3)	目標値 (R8)	設定根拠等
「道路網の整備」に対する市民満足度	61.2 点	68.4 点	市民アンケート
「市の雪対策（道路除排雪事業）」に対する市民満足度	54.3 点	65.3 点	市民アンケート

①事業名	社会資本整備総合交付金等事業						
	②関係地域	全地域					
③事業概要	三次医療機能を有する総合病院や小中学校などへの幹線市道の改善により、地域住民の安全・安心なまちづくりを行う。						
④期待される効果	快適で安全・安心な道路整備の実現が図られる。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	515,000	480,000	480,000	480,000	480,000	2,435,000	
⑥国県補助事業等の名称等	社会資本整備総合交付金						
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：幹線道路については、国道13号、国道107号、主要地方道等の主要幹線道路や秋田自動車道横手インターチェンジ、横手北スマートインターチェンジとの円滑な接続と道路機能の充実を図る。</p> <p>周辺地域：幹線道路については、国道13号、国道107号、国道342号、国道397号、主要地方道等の主要幹線道路との円滑な接続と道路機能の充実を図る。</p>						
⑧目標値	道路整備計画の計画総延長に対する道路改良率						
	現状値 (R3)			目標値 (R8)			
	18.4% (R2 年度実績)			24.7%			

	道路整備計画および舗装の個別施設計画における、計画総延長に対する舗装補修率	
	現状値 (R3)	目標値 (R8)
	29.9% (R2 年度実績)	69.2%
	道路整備計画の雪寒施設及び側溝改良の計画総延長の対する補修及び改良率	
	現状値 (R3)	目標値 (R8)
	20.6% (R2 年度実績)	39.7%

①事業名	道路メンテナンス補助事業						
②関係地域	全地域						
③事業概要	「横手市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき橋梁の補修を行うとともに、5年に1度定期点検を実施する。						
④期待される効果	快適で安全・安心な交通の実現が図られる。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	273,000	230,000	230,000	230,000	230,000	1,193,000	
⑥国県補助事業等の名称等	道路メンテナンス事業費補助金						
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：幹線道路については、国道13号、国道107号、主要地方道等の主要幹線道路や秋田自動車道横手インターチェンジ、横手北スマートインターチェンジとの円滑な接続と道路機能の充実を図る。</p> <p>周辺地域：幹線道路については、国道13号、国道107号、国道342号、国道397号、主要地方道等の主要幹線道路との円滑な接続と道路機能の充実を図る。</p>						
⑧目標値	橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕件数（健全度Ⅲ※）						
	※道路橋の機能に支障が生じる可能性がある状態						
	現状値 (R3)			目標値 (R8)			
1 件 (R2 年度実績)			17 件				

①事業名	生活基盤道路整備事業						
②関係地域	全地域						
③事業概要	拠点地区との交流や連携、広域交流の進展につながる基幹道路の整備及び関連生活道路の改良充実を図る。						
④期待される効果	生活道路において、日常的に利用する歩行者や自転車利用者の安全性が確保され、市内各地域間交通と公共施設等へのアクセスが円となっている。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計	
	299,000	570,000	490,000	430,000	440,000	2,229,000	
⑥国県補助事業等の名称等							
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：都市機能と幹線道路等への円滑な持続が可能となるよう道路環境の整備を図る。</p> <p>周辺地域：幹線道路等への円滑な持続が可能となるよう道路環境の整備を図る。</p>						
⑧目標値	道路整備計画の計画総延長に対する道路改良率						
	現状値 (R3)			目標値 (R8)			
	42.1% (R2年度実績)			65.6%			
	道路整備計画および舗装の個別施設計画における、計画総延長に対する舗装補修率						
	現状値 (R3)			目標値 (R8)			
	49.4% (R2年度実績)			63.4%			
	道路整備計画の雪寒施設及び側溝改良の計画総延長の対する補修及び改良率						
	現状値 (R3)			目標値 (R8)			
	6.8% (R2年度実績)			11.6%			

①事業名	町内会等除雪活動費補助事業						
②関係地域	全地域						
③事業概要	町内会や集落等の団体に対し、市道等の除排雪を行うための消雪パイプ等の設置や小型除雪機械等の購入費用の一部を補助する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消雪パイプ施設設置 (1/2 以内、上限 130 万円)</li> <li>・融雪溝施設設置 (1/2 以内、上限 130 万円)</li> <li>・除雪機械の取得 (1/2 以内、上限 30 万円)</li> <li>・融雪機器の設置 (1/2 以内、上限 30 万円)</li> <li>・上記ほか、修繕費、電気料金、燃料費等</li> </ul>						
④期待される効果	市道や公衆用道路等の除排雪が実施されることにより、冬期間の安全・安心な道路交通が確保される。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	17,947	17,947	17,947	17,947	17,947	89,735	
⑥国県補助事業等の名称等							
⑦役割分担に係る基本的な考え方	横手地域：都市機能と幹線道路等への円滑な接続が可能となるよう道路環境の整備を図る。 周辺地域：幹線道路等への円滑な接続が可能となるよう道路環境の整備を図る。						
⑧目標値	補助金交付団体数						
	現状値 (R3)			目標値 (R8)			
	301 団体 (R2 年度実績)			300 団体			



①事業名	除雪機械購入事業						
②関係地域	全地域						
③事業概要	冬期間の道路交通確保に必要な除雪機械を計画的に整備する。 (R4 : 8 台、R5 : 5 台、R6 : 4 台、R7 : 4 台、R8 : 7 台)						
④期待される効果	早期に損耗する除雪機械を更新することにより、冬期間の安全・安心な道路交通が確保される。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	248,000	125,500	141,100	126,800	222,000	863,400	
⑥国県補助事業等の名称等	社会資本整備総合交付金						
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：幹線道路については、国道13号、国道107号、主要地方道等の主要幹線道路や秋田自動車道横手インターチェンジ、横手北スマートインターチェンジとの円滑な接続と道路機能の充実を図る。また、生活道路については、都市機能と幹線道路等への円滑な接続が可能となるよう道路環境の整備を図る。</p> <p>周辺地域：幹線道路については、国道13号、国道107号、国道342号、国道397号、主要地方道等の主要幹線道路との円滑な接続と道路機能の充実を図る。また、生活道路については、幹線道路等への円滑な接続が可能となるよう道路環境の整備を図る。</p>						
⑧目標値	補助更新除雪機械への安全装置装着率						
	現状値 (R3)			目標値 (R8)			
	24% (R2 年度実績)			100%			



### (3) 交流・定住促進

#### 【形成方針】

#### ア 移住定住の推進

ウェブサイト等を活用した情報発信と、各種窓口や移住イベントの場での個別相談等により、移住希望者の掘り起こしに努める。

移住してよかったと思えるよう、一人一人の相談内容に応じたきめ細やかな対応を心がけ、「定住」という結果につなげるため、関係部局が連携して対応にあたる。

#### イ 応援人口との交流促進

継続的に多様な関わりを持ってくれる応援人口とともに課題解決に取り組むため、大規模イベントや首都圏でのイベント等を通じて応援意識の醸成と底上げを図るとともに、横手の課題応援事業メニューを企画・実施し、応援人口による地域課題への具体的な応援・支援といった取組の深化を図る。

#### ウ グリーン・ツーリズムへの支援による移住対策事業の推進

田植え、稲刈り、ぶどう・りんご狩り等の農業体験や食文化体験、自然体験等の資源を生かしたグリーン・ツーリズムの支援に努め、受入農家の育成と農家民宿の充実を図ることで、都市からの体験希望者を増加させ、農村生活を体験してもらうことにより、都市住民の移住促進を図る。

#### 【基本目標】

基本目標	現状値 (R3)	目標値 (R8)	設定根拠等
「他自治体等との連携・交流の推進」に対する市民満足度	63.3点	69.6点	市民アンケート

①事業名	移住定住促進事業						
②関係地域	全地域						
③事業概要	移住検討段階の方々への情報発信や移住コンシェルジュ、移住アドバイザーの配置等、移住希望者への支援を実施し、移住定住を促進する。						
④期待される効果	都市住民の移住促進が図られる。						
⑤年度別概算事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計	
	7,441	7,441	7,441	7,441	7,441	37,205	
⑥国県補助事業等の名称等							
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：都市機能を備えた圏域中心地域として、移住希望者に対して地域の暮らしの魅力をPRし、移住定住の促進につなげる。</p> <p>周辺地域：豊かな自然環境の中で地域ごとの特性を活かした暮らしぶりをPRし、移住定住の促進につなげる。</p>						
⑧目標値	現状値 (R3)			目標値 (R8)			
	8世帯 (R2年度実績)			12世帯			



①事業名	応援人口拡大事業						
②関係地域	全地域						
③事業概要	横手市出身者を中心とした応援人口を対象に、横手の魅力を発信する情報紙「よこてfun通信」を発行し、関係性の維持拡大を図り、市の課題解決や活性化を図る。						
④期待される効果	応援人口の拡大が期待できる。						
⑤年度別概算事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計	
	15,712	15,712	15,712	15,712	15,712	78,560	
⑥国県補助事業等の名称等							
⑦役割分担に係る基本的な考え方	横手地域：課題応援事業メニューを企画・実施し、応援人口との関係の深化を図る。 周辺地域：地域課題の洗い出しを実施するとともに、交流促進につながる地域資源の発掘や洗い出しを行い、横手地域と連携し、応援人口との関係の深化を図る。						
⑧目標値	よこてfun通信購読者数						
	現状値 (R3)			目標値 (R8)			
	9,919人 (R2年度実績)			13,500人			



①事業名	応援人口との関係深化事業						
②関係地域	全地域						
③事業概要	横手市に住んでいなくても市に対する応援の気持ちがあり、関係を持ち続けてくれる応援市民に、横手市の地域課題に対する具体的な応援活動の実施を促す取組を実施する。						
④期待される効果	応援人口による横手市の地域課題の解決が期待できる。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	3,642	3,642	3,642	3,642	3,642	18,210	
⑥国県補助事業等の 名称等							
⑦役割分担に係る 基本的な考え方	<p>横手地域：課題応援事業メニューを企画・実施し、応援人口との関係の深化を図る。</p> <p>周辺地域：地域課題の洗い出しを実施するとともに、交流促進につながる地域資源の発掘や洗い出しを行い、横手地域と連携し、応援人口の取組の深化を図る。</p>						
⑧目標値	応援人口による地域課題応援の取組メニュー数						
	現状値 (R3)			目標値 (R8)			
	-件 (R2 年度実績)			3 件			



①事業名	「また、来てみたい」グリーン・ツーリズム横手の魅力発信事業						11 住み続けられるまちづくりを	15 陸の豊かさも中ろう
②関係地域	全地域							
③事業概要	都市部の学校との相互交流を通じて本圏域のPRを行うとともに、グリーン・ツーリズム事業推進のための農業体験受入及び農家民宿開業農家の育成を図る。							
④期待される効果	本圏域を訪れた都市部の学生を通じて、本圏域の魅力をPRすることにより、都市住民の移住促進が図られる。							
⑤年度別概算事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計		
	1,144	1,144	1,144	1,144	1,144	5,720		
⑥国県補助事業等の名称等								
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：観光ぶどう園等の農業体験を通じて、圏域内におけるグリーン・ツーリズムの情報発信を図り、他地域での農業体験実施につなげるよう努める。</p> <p>周辺地域：優良事例である農家民宿・農業体験の取組をより広範囲に普及させるとともに、長期滞在及び移住につながるよう地域の特色を生かした受入体制を整備し、定住者の拡大を図る。</p>							
⑧目標値	受入団体数							
	現状値 (R3)				目標値 (R8)			
	2団体 (R2年度実績)				5団体			



## (4) 地産地消の推進

### 【形成方針】

#### ア 地域資源を活用した地産地消の推進

圏域内における地産地消を推進するため、農産物直売所の利用促進を支援するとともに、地場農産品の学校給食での使用拡大を図る。

また、圏域内で生産された農産物を加工、販売する体制整備への支援を行い、6次産業化への取組を推進する。さらに、横手市農業や横手産農産物への理解の促進、農作業体験を含めた担い手の育成に関連した食育事業を推進し、総体的に地産地消への意識の向上を図る。

### 【基本目標】

基本目標	現状値 (R3)	目標値 (R8)	設定根拠等
地産地消を意識し生活している市民の割合	72.9 点	75.0 点	市民アンケート

①事業名	6次産業化応援事業						  
②関係地域	全地域						
③事業概要	6次産業化に関する研修会、講習会を開催するとともに、6次産業化の推進に係る取組を支援する。						
④期待される効果	6次産業化への取組により農家の所得向上が図られる。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計	
	6,125	6,125	6,125	6,125	6,125	30,625	
⑥国県補助事業等の名称等							
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：6次産業化への体制整備を支援するとともに、6次産業化支援施設の活用を推進する。また、農産物直売所等に関する情報を発信する。</p> <p>周辺地域：6次産業化への体制整備を支援するとともに、6次産業化支援施設の活用を推進する。また、中心地域と連携し、直売所の支援を図る。</p>						
⑧目標値	横手市6次産業化支援施設の利用件数						
	現状値 (R3)			目標値 (R8)			
	127件 (R2年度実績)			170件			

①事業名	食育推進事業（横手の ごっつおさん事業）						2 削減を ゼロに 	4 質の高い教育を みんなに 	12 つくる責任 つかう責任 
②関係地域	全地域								
③事業概要	小中学校を対象にした横手産の食材を使った「横手のごっつお給食」や、市内保育園を対象とした「冬野菜を食べる会」のなど、食育事業を実施し、地産地消の推進を図る。								
④期待される効果	食育を通じ横手市農業への理解が進むとともに地産地消の推進が図られる。								
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計			
	2,366	2,366	2,366	2,366	2,366	11,830			
⑥国県補助事業等の 名称等									
⑦役割分担に係る 基本的な考え方	横手地域：生産者団体等との意見交換を開催し、学校給食における地場農産物の使用率向上を図る。 周辺地域：中心地域と連携し各種施策に取り組み、地産地消の推進を図るとともに、各地域で生産している特色ある農産物への理解を促進するなどの食育事業を支援する。								
⑧目標値	学校給食における地場産野菜 15 品目使用率								
	現状値 (R3)			目標値 (R8)					
	38.5% (R2 年度実績)			45.0%					

## (5) デジタル・ディバイドの解消へ向けたICTインフラ整備・活用

### 【形成方針】

#### ア ICTの利活用による市民の利便性の向上

ICTの利活用により、行政手続きのオンライン化の充実や公共施設の予約をはじめ、使用料等の支払いのキャッシュレス決済などデジタル化の推進を図り、「いつでも」「どこからでも」手続きができるように市民の利便性の向上とデジタル・ディバイド（情報格差）の解消を図る。

また、児童・生徒の情報活用能力の育成や、ICTを効率的に活用した「わかりやすく深まる授業」の実現のため、教育ICT環境の充実を図る。

さらに、市内外企業の多様な働き方を支援するため、ビジネスワーク施設やテレワーク環境等の充実を図る。

### 【基本目標】

基本目標	現状値 (R3)	目標値 (R8)	設定根拠等
「横手市の取り組み全体」に対する市民満足度	62.3 点	68.6 点	市民アンケート

①事業名	Bizサポートよこて運営事業							
②関係地域	全地域							
③事業概要	複合活用型ビジネス施設「Bizサポートよこて」を活用した、県外企業等のサテライトオフィスや市内企業のテレワークを推進する。							
④期待される効果	テレワーク環境等の充実が図られる。							
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計		
	5,391	5,391	5,391	5,391	5,391	26,955		
⑥国県補助事業等の名称等								
⑦役割分担に係る基本的な考え方	横手地域：多様化するICTの情報を収集し、環境整備や利活用の検討、体制の充実を図る。 周辺地域：中心地域と連携し各種施策に取り組み、利便性の向上を図る。							
⑧目標値	Bizサポートよこてに入居している企業数							
	現状値 (R3)			目標値 (R8)				
	-社 (R2 年度実績)			11 社				

①事業名	I C T活用サービス推進事業							
②関係地域	全地域							
③事業概要	I C Tの利活用により、行政手続きのオンライン化の充実や公共施設の予約をはじめ、使用料等の支払いのキャッシュレス決済などデジタル化の推進を図り、「いつでも」「どこからでも」手続きができるように市民の利便性の向上とデジタル・ディバイドの解消を図る。							
④期待される効果	市民の利便性の向上とデジタル・ディバイドの解消が図られる。							
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計		
	3,000	3,600	3,600	3,600	3,600	17,400		
⑥国県補助事業等の名称等								
⑦役割分担に係る基本的な考え方	横手地域：多様化するI C Tの情報を収集し、環境整備や利活用の検討、体制の充実を図る。 周辺地域：中心地域と連携し各種施策に取り組み、利便性の向上を図る。							
⑧目標値	行政手続きオンライン導入件数							
	現状値 (R3)				目標値 (R8)			
	13件 (R2年度実績)				150件			



①事業名	<b>オンライン介護予防システム 導入活用事業</b>   					
②関係地域	全地域					
③事業概要	スマートフォンアプリを活用し、在宅高齢者がオンラインで介護予防や健康づくり、支え合いの仲間づくり等に取り組める環境を整備するとともに、スマートフォンの操作講習会を開催し、デジタル・デバイドの解消に向けた取組を実施する。					
④期待される効果	デジタル・デバイドの解消が図られるとともに、高齢者の健康づくりに対する行動変容が見られ、健康寿命の延伸が図られる。					
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	5,736	363	363	363	363	7,188
⑥国県補助事業等の 名称等						
⑦役割分担に係る 基本的な考え方	<p>横手地域：元気で自立した高齢者に対し、健康づくりの動機づけによる行動変容を促し、健康寿命の延伸に繋げるため、地域の通いの場や、福祉関係者（民生委員等）の会合などに出向き、取組の周知とスマートフォンの操作講習会を実施する。</p> <p>周辺地域：元気で自立した高齢者に対し、健康づくりの動機づけによる行動変容を促し、健康寿命の延伸に繋げるため、地域の通いの場や、福祉関係者（民生委員等）の会合などに出向き、取組の周知とスマートフォンの操作講習会を実施する。</p>					
⑧目標値	スマートフォン操作講習会参加者数（年間）					
	現状値（R3）			目標値（R8）		
	-（R2 年度実績）			200 人		



### 3. 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

#### (1) 人材の育成

##### 【形成方針】

##### ア 市民の主体的な地域づくり活動の推進

地域づくりの支援に取り組み、人口減少や少子高齢化の中で多様化する地域課題や地域の将来像を考え、課題解決のための持続的な取組体制の確立を図るとともに、地域住民の参画を促し、人材の育成を図る。

##### 【基本目標】

基本目標	現状値 (R3)	目標値 (R8)	設定根拠等
「市民との協働・活動支援」に対する市民満足度	63.8 点	69.2 点	市民アンケート

①事業名	「横手を学ぶ郷土学」推進事業						
②関係地域	全地域						
③事業概要	発見と学びのための「横手を学ぶ郷土学総合テキスト」を作成し、圏域全小中学生に配布し、テキストを活用した授業を行う。						
④期待される効果	横手の歴史・伝統・文化を理解させることにより、郷土に愛着と誇りをもった子どもの育成に寄与する。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	55	3,591	3,591	3,591	3,591	14,419	
⑥国県補助事業等の名称等							
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：周辺地域と連携し、「横手を学ぶ郷土学総合テキスト」を活用した授業を行い、地域の歴史・伝統・文化等の文化的資産を次世代に継承、発信のできる人材の育成を図る。</p> <p>周辺地域：横手地域と連携し、「横手を学ぶ郷土学総合テキスト」を活用した授業を行い、各地域の歴史・伝統・文化等の地域資源を次世代に継承、発信のできる人材の育成を図る。</p>						
⑧目標値	「横手を学ぶ郷土学総合テキスト」活用完全実施校数						
	現状値 (R3)			目標値 (R8)			
	20 校 (R2 年度実績)			20 校			

①事業名	地域運営組織形成支援事業						
②関係地域	全地域						
③事業概要	地域運営組織の形成に向けたワークショップの開催や研修等を実施し、地域課題解決のための持続的な取組体制の確立を図る。						
④期待される効果	地域住民の参画や、人材の育成が図られる。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計	
	6,244	6,244	6,244	6,244	6,244	31,220	
⑥国県補助事業等の名称等							
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：横手地域においては、自主運営組織や自治会・町内会の地域づくり活動を支援しながら、地域住民が主体となった地域づくり活動を推進し、地域住民の参画を促し、人材の育成を図る。</p> <p>周辺地域：周辺地域においても、自主運営組織や自治会・町内会の地域づくり活動を支援しながら、地域住民が主体となった地域づくり活動の推進を図るとともに、地域住民の参画を促し、人材の育成を図る。</p>						
⑧目標値	職員等研修会開催数						
	現状値 (R3)				目標値 (R8)		
	5回 (R2年度実績)				5回		

①事業名	地域づくり市民活動補助事業						
②関係地域	全地域						
③事業概要	地域住民による自主的主体的なまちづくり活動の取組の促進を図り、豊かな地域社会を実現するために、地域課題の解決を図る活動に対し、補助金を交付する。						
④期待される効果	地域住民が主体となった地域づくりが図られる。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計	
	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	150,000	
⑥国県補助事業等の名称等							

⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：横手地域においては、自主運営組織や自治会・町内会の地域づくり活動を支援しながら、地域住民が主体となった地域づくり活動を推進し、地域住民の参画を促し、人材の育成を図る。</p> <p>周辺地域：周辺地域においても、自主運営組織や自治会・町内会の地域づくり活動を支援しながら、地域住民が主体となった地域づくり活動の推進を図るとともに、地域住民の参画を促し、人材の育成を図る。</p>	
⑧目標値	補助金交付件数	
	現状値 (R3)	目標値 (R8)
	50 件 (R2 年度実績)	100 件

①事業名	<b>町内会活動補助事業</b> 					
②関係地域	全地域					
③事業概要	自治会、町内会、集落等が行う活動（地域活性化、伝統文化継承等）およびコミュニティ活動に必要な備品整備に要する経費に対し、補助金を交付する。					
④期待される効果	地域住民が主体となった地域づくりが図られる。					
⑤年度別概算事業費（千円）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	9,500	9,500	9,500	9,500	9,500	47,500
⑥国県補助事業等の名称等						
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：横手地域においては、自主運営組織や自治会・町内会の地域づくり活動を支援しながら、地域住民が主体となった地域づくり活動を推進し、地域住民の参画を促し、人材の育成を図る。</p> <p>周辺地域：周辺地域においても、自主運営組織や自治会・町内会の地域づくり活動を支援しながら、地域住民が主体となった地域づくり活動の推進を図るとともに、地域住民の参画を促し、人材の育成を図る。</p>					
⑧目標値	補助金交付件数					
	現状値 (R3)			目標値 (R8)		
	19 件 (R2 年度実績)			100 件		

## (2) 外部からの人材の招へい

### 【形成方針】

#### ア 地域支援アドバイザー等の活用

本圏域の地域おこしにつながる魅力的な資源があるにもかかわらず、地元住民ではなかなか気づかない地域産品等を客観的な視点で掘り起こし、商品開発等について助言する地域支援アドバイザーの招へいや地域おこしを担う人材を受け入れ、地域産業の高付加価値化を図る。

### 【基本目標】

基本目標	現状値 (R3)	目標値 (R8)	設定根拠等
「観光の振興」に対する市民満足度	61.0 点	66.7 点	市民アンケート
「企業誘致の推進と雇用対策」に対する市民満足度	55.3 点	62.5 点	市民アンケート

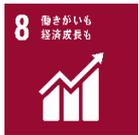
①事業名	観光アドバイザー活用事業 (観光活動推進費)						
②関係地域	全地域						
③事業概要	市外からプロの観光アドバイザーを招き、地元住民ではなかなか気がつかない、地域に眠っている魅力的な観光資源を発掘し、地域観光の充実を図る。						
④期待される効果	複数の観光資源を結び付けることにより、滞在型観光客の増加が期待できる。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4 年度 400	R5 年度 400	R6 年度 400	R7 年度 400	R8 年度 400	計 2,000	
⑥国県補助事業等の名称等							
⑦役割分担に係る基本的な考え方	横手地域：新たな観光ルート開発や観光資源を発掘する観光アドバイザーを招へいして、新たな横手ブランドの創造に努め、本圏域のPRを推進する。 周辺地域：観光資源の情報収集を行い、各地域を周遊する観光ルートの開発に努める。						
⑧目標値	観光地点等入込客数 (延べ人数) ※観光地点及び行祭事・イベントにおける客数						
	現状値 (R3)			目標値 (R8)			
	2,661,904 人 (R2 年度実績) (3,720,244 人 (R1 年度実績))			4,000,000 人			

①事業名	企業支援アドバイザー活用事業 (地域ビジネス発掘調査事業)						 
	②関係地域	全地域					
③事業概要	産学連携の取組として企業支援アドバイザーを招き、地域課題の解決や雇用創出に結びつけるための仕組みづくり、製品や技術の開発等の支援を実施する。						
④期待される効果	市内事業所が抱える課題の解決に向けた支援を実施することで、市内事業所の競争力向上や起業者の増加を図る。						
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計	
	3,840	3,840	3,840	3,840	3,840	19,200	
⑥国県補助事業等の名称等							
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：横手地域へ立地している企業の支援を実施することにより経営基盤の強化を図る。</p> <p>周辺地域：各地域へ立地している企業の支援を実施することにより経営基盤の強化を図る。</p>						
⑧目標値	企業等の課題解決着手数						
	現状値 (R3)			目標値 (R8)			
	4件 (R2年度実績)			5件			

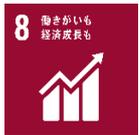


①事業名	地方創生人材支援制度活用事業						8 働きがいも 経済成長も	17 パートナースHIPで 目標を達成しよう
②関係地域	全地域							
③事業概要	内閣府の人材マッチング制度である地方創生人材支援制度を活用し、民間企業から人材を受け入れ、地域産品の販路拡大と6次産業化商品の開発や販売等、民間企業の視点で販路の多様化を図る。							
④期待される効果	民間企業の視点から、地域産品の販路の多様化が期待できる。							
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計		
	12,327	1,250	0	0	0	13,577		
⑥国県補助事業等 の名称等								
⑦役割分担に係る 基本的な考え方	<p>横手地域：特産品や新商品の開発・売り込み等に関するマーケティングアドバイザーを受け入れ、地域の魅力向上に努めるとともに、本圏域のPRを推進する。</p> <p>周辺地域：各地域の資源調査等により、各地域に埋もれている優良な農産品や特産品の情報収集を行い、地域資源の発掘を行うとともに、アドバイザー等により発掘された優良な特産品等についてのマーケティングを推進する。</p>							
⑧目標値	販路開拓数							
	現状値 (R3)			目標値 (R5)				
	-社 (R2 年度実績)			2社				



①事業名	地域おこし協力隊活用事業							
②関係地域	全地域							
③事業概要	都市部の人材を積極的に誘致し、地域おこし協力隊として地域産業や観光の振興、地域の魅力の情報発信などの地域協力活動に従事してもらいながら、横手市への移住・定着を図る。							
④期待される効果	地域外の人材の視点から、地域おこしが図られる。							
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計		
	12,537	12,537	12,537	12,537	12,537	62,685		
⑥国県補助事業等の名称等								
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：地域おこしを担う人材を受け入れ、新たな横手ブランドの創造に努め、本圏域のPRを推進する。</p> <p>周辺地域：各地域の資源調査等により、各地域に埋もれている優良な農産品や特産品、観光資源の情報収集を行い、地域資源の発掘を行うとともに、アドバイザー等により発掘された優良な特産品等についてのマーケティングを推進するとともに、各地域を周遊する観光ルートの開発に努める。</p>							
⑧目標値	情報センターを除く独自媒体での地域資源に係る情報発信数							
	現状値 (R3)			目標値 (R8)				
	-件 (R2年度実績)			72件				



①事業名	地域活性化起業人交流プログラム 活用事業							
②関係地域	全地域							
③事業概要	地域活性化起業人交流プログラムにより観光分野の専門知識・経験を有する人材を登用し、DMOと連携した、戦略的な観光地域づくりを推進する。							
④期待される効果	地域外の人材の視点から、地域おこしが図られる。							
⑤年度別概算事業費 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計		
	7,713	0	0	0	0	7,713		
⑥国県補助事業等の名称等								
⑦役割分担に係る基本的な考え方	<p>横手地域：地域おこしを担う人材を受け入れ、新たな横手ブランドの創造に努め、本圏域のPRを推進する。</p> <p>周辺地域：各地域の資源調査等により、各地域に埋もれている優良な農産品や特産品、観光資源の情報収集を行い、地域資源の発掘を行うとともに、アドバイザー等により発掘された優良な特産品等についてのマーケティングを推進するとともに、各地域を周遊する観光ルートの開発に努める。</p>							
⑧目標値	年間宿泊者数							
	現状値 (R3)			目標値 (R8)				
	16.5 万人 (R2 年度実績) (24.8 万人 (R1 年度実績))			26.5 万人				



【参考】これまでの取組状況

平成22年10月 2日	「横手市定住自立圏中心市宣言」公表
22年12月15日	「横手市定住自立圏形成方針」議決・公表 (横手市議会12月定例会)
23年 3月18日	「横手市定住自立圏共生ビジョン」公表
28年 3月28日	「横手市定住自立圏共生ビジョン(平成28年3月)」公表
29年 3月29日	「横手市定住自立圏共生ビジョン(平成29年3月)」改訂・公表
令和 3年 3月22日	「横手市定住自立圏共生ビジョン(令和3年3月)」改訂・公表
3年 9月16日	「横手市定住自立圏形成方針」一部改正・議決・公表
4年 3月29日	「第3次横手市定住自立圏共生ビジョン(令和4年3月)」公表

